

# **カヌー・スラロームセンター**

## **指定管理者審査 提案書類（事業計画書）**

---

**団体名 株式会社 協栄**

---

**所在地 東京都中央区日本橋蛎殻町2-13-9**

---

**代表者名 代表取締役 山田 賢治**

---

## 事業計画書様式一覧

提 案 課 題		ページ		
事業 計 画 書  1	提案課題 1 管理運営の基本方針	1~6		
	提案課題 2 施設の提供、運営に関する業務	1 施設の提供	(1) 休館日及び開場時間	7~9
			(2) 利用の調整	10
			(3) 利用料金	11~12
		2 施設の運営	(別表) 利用料金表	13~14
			(1) 競技施設運営業務	15~16
			(2) トレーニングルーム運営業務	17~18
		3 施設内サービス及び東京2020大会のメモリアルの展示	(1) 施設内サービスに関する業務	19~20
			(2) 東京2020大会のメモリアルの展示に関する業務	21
		提案課題 3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務	1 事業の提供	(1) スポーツ振興事業
(別表) 事業実施計画				24
(2) 自主事業	25~27			
(別表) 事業実施計画	28			
(3) 周辺連携事業	29			
(別表①) 事業実施計画【収支計画が作成可能な事業】	30			
(別表②) 事業実施計画【構想段階の事業】	31			
(4) 利用者に対するサービス提供事業	32			
(別表) 事業実施計画	33			
2 施設の事業を支える仕組み	(1) 広報			34
提案課題 4 組織及び人材	1 効果的かつ効率的な組織体制の確保	35~36		
		(別表) 各部門の所要人員	37	
		2 明確な責任体制の構築	38	
		3 適切な勤務体制等	39~40	
提案課題 5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務	4 人材育成の取組	41		
		1 施設、附属設備及び物品の維持管理	(1) 施設、附属設備及び物品の維持管理	42~43
	(2) 施設の修繕		44	
	2 その他管理運営に関する事項		(1) 危機管理及び災害対応	45~47
(2) 地球環境への配慮			48	
(3) 個人情報の保護			49	
提案課題 6 収支計画			50~53	
(別表) 指定管理期間中の収支計画		54~55		
(別紙1) 収支計画の積算内訳		56~59		
(別紙2) ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳		60		

※ 様式に記載しきれない場合は、同様の書式で別紙（A4）を作成してください。

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 管理運営の基本方針

日本で初めて建設される、人工カヌー・スラローム施設の特性を最大限に活かし、社会に有効な施設として、活用し続け、発展し続けることが出来るよう、効果的で効率的な、施設運営・維持管理を行います。

その中で、葛西臨海公園・葛西海浜公園など関係ある施設や組織と連携し多目的な活用を図り、にぎわいを創出します。また、大会の誘致、練習会場として活用を競技団体と連携しながら進めることで国際競技力の向上、競技の普及を目指します。



効率的・効果的運営管理



社会に有効な施設として  
活用し続け、発展し続ける

競技普及、にぎわいの創出の両立・相乗効果を通して、国内初の人工施設を社会に有効な施設として、発展し、活用し続けるための環境を整備します

- ① レジャー活用、公園との連携を確実に実施し、入場者数 10 万人を毎年達成
- ② 各競技団体と連携し、年間国際大会 1 大会、国内大会 6 大会誘致を達成
- ③ 選手の活動拠点として、その機能を最大限に活かし、競技力向上に貢献
- ④ 都民に水上スポーツ・水上レクリエーションの機会を提供し、スポーツ振興に貢献
- ⑤ オリ・パラの情報、施設の行事内容、魅力を国内外に向かって発信
- ⑥ 効率的な施設の利用時間、予約方法を検討した設備の効率稼働



#### 【目標達成のための活動とその効果】

目標	目標達成のための活動	効果
①年間来場者 10 万人達成	300 万人の公園利用者の施設利用促進	公園との相乗効果・身近な方の利用
	ラフティングなどのレジャー利用の促進	水上スポーツの振興、運営財源の確保
②大会の誘致	競技団体との連携、大会への協力	競技力向上、する・みる・支える、愛好者増
	競技団体との連携、練習環境の整備	競技力向上、世界で活躍する日本人選手を輩出
③競技活動拠点	近隣地域のカヌークラブの活動支援	身近な施設として地域に浸透
	身近な教室・体験の実施	水上スポーツ・レジャーによるスポーツ振興、都民の <b>スポーツ実施率向上</b>
④水上スポーツ ・レジャーの普及	地方のアウトドア施設と連携	経験者に紹介、地方創生に協力
	ホームページの開設・SNS の活用	施設・競技の魅力発信、イメージアップ
⑤情報発信	多目的利用を実現する時間割・予約方法	効果的な施設稼働の実現、異なる利用の両立て <b>競技普及とにぎわい創出の相乗効果</b>
	人員配置・ポンプ稼働を最小にする時間割	効率的施設稼働による経費の節減

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]



### 具体的運営

競技利用、都民利用、周辺連携の利用特性を理解し、各視点に立った具体的な運営を実施します。

競 技 利 用	大会を誘致し、トップレベルの競技を身近に感じることで競技力を向上し、水上スポーツ競技の振興を図る	競技団体と連携し、国際大会 1・国内大会 6 の誘致 大会の行いやすい会場として大会の主催者を支援 他の大会開催施設との連携を強化、情報の共有 <b>都市型施設としての魅力を国内外に発信</b>
	安定した競技環境を提供し、カヌーをはじめとした水上競技の選手強化拠点として施設を活用する	<b>NTC 競技別強化拠点施設の申請</b> <b>観光連携・海外選手の合宿地・中継地機能</b> 競技団体との連携 選手の練習のしやすい環境の整備
都 民 利 用	地域にカヌー・スラロームを普及し、施設への理解を高める	地元選手育成（都・区、競技団体・高校等連携） 体験会やデモンストレーションの実施 地域のカヌークラブの活動支援
	フィニッシュプールを活用したカヌー教室等の水上スポーツ体験機会の提供、様々なニーズに応える多目的な活用	公園利用者向けウォーミングアップコースラフティング体験 カヌー・スタンドアップパドル体験・教室 <b>ウォーターバルーン等のレジャー利用の実施</b>
	競技コースを活用したラフティング・水難レスキュートラベル等の事業の実施	ラフティング等ウォータースポーツ体験の実施 水難レスキュートラベル等の事業の実施 冬期の消防等への施設の貸出
	会議室・更衣室・周辺施設を活用してアウトドア事業などの実施	<b>施設を活用したランニングステーション、ヨガ教室</b> 会議室を使った各種事業の実施 ケータリングカーやバーベキューなど飲食提供
周 辺 連 携	葛西臨海公園・葛西海浜公園と一緒に、各施設等周辺施設と連携し、多様な事業展開を図る	隣接公園と一緒に観光案内の強化 公園利用者向けウォーミングアップコースラフティング体験 シーカヤックなど水にぬれない体験事業の実施 <b>ウォーターバルーン等のレジャー利用の実施</b> 公園で活動する NPO などに会議室の貸出
	都スポーツ振興施策の実現に向け、都民のスポーツ活動を支援、水上スポーツの普及、スポーツ実施率向上に貢献、都の他の行政施策とも連携する	オリ・パラ関連事業等、都の事業に協力、参加 周辺オリ・パラ施設との連携事業実施 <b>オリ・パラ機運醸成、旅行代理店・観光バスと連携</b> 体験やデモンストレーションを通じ水上スポーツの普及 オリ・パラ後のレガシー展示、視察への積極的協力
	東京都の災害時の拠点、葛西臨海公園に協力し、災害に備える	公園協会に協力、定例会実施、対応マニュアル整備 災害時ラフティングボートの活用等の連携
	地域と共生共栄する施設を目指し、地域と連携し環境に貢献	江戸川区との連携・地域に情報を発信 都・区カヌー連盟と協力して地域に貢献 地域招待イベントの実施・地域活動への参加
	都市型施設の特徴を活かし、本格的水上レジャーへの入口としての体験事業の実施地方創生活動への貢献	公園利用者に対してラフティング体験事業 チームビルディングラフティング体験などのツアー <b>地方のラフティング・カヌー場の案内</b> 地方のラフティング・カヌー場と連携事業の実施

事業者名・団体名

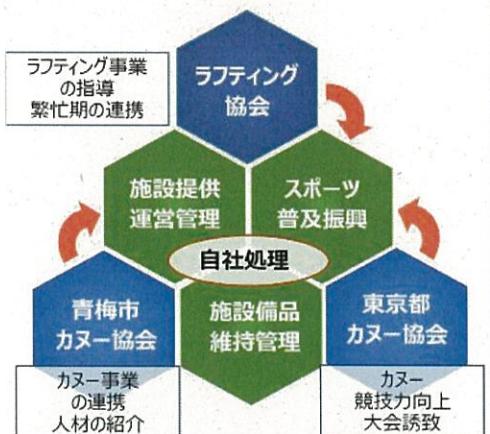
株式会社 協栄

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]



### 専門団体による確実なバックアップにより、施設を一本化して運営管理

- ◆当施設は、**複合機能を持ち**、時間によって、行われる事業が異なり、それぞれに、専門の人材を雇い入れると、人件費のロスが大きくなりコストがかさみます。  
私たちは業務を縦割りにするのではなく、**一本化して、マルチに活躍できる人材**を採用・教育します。  
また、それぞれの事業の**専門性**を確保するため、人材紹介、立ち上げ時の事業の指導、通常期の応援などの部分を**専門団体に依頼**し、確実な事業運営管理を実施します。
- ◆専門団体とは、公募の段階から協議を進め、確実にバックアップいただけるお約束をいただき、関心表明書をいただいているま



【業務の自社処理と専門団体のバックアップ】

#### 【専門団体のバックアップ内容】

団体名	バックアップの内容
東京都カヌー協会	カヌーの強化練習会・大会の誘致、競技力向上の事業協力
一社) ラフティング協会	事業立ち上げ時のコンサルティング、通常期の協会員の支援
NPO) 青梅市カヌー協会	カヌー事業の連携、カヌー指導員等人材の紹介、教育
江戸川区カヌー協会	カヌーイベントの連携、地域活動への協力



#### 「社会的に有効な施設であり続ける」に込める私たちの思い

北京オリンピックのカヌー・スラローム会場は廃墟となり、リオの会場はプールとしての利用を見込まれていましたが、浄水設備が維持できず、その機能を失ってしまっています。また日本でも長野のボブスレー施設「スパイナル」が今年 2018 年 2 月 5 日に、競技施設としては閉鎖されました。

私たちは、運用に高い経費が掛かる施設に強いられる運営上の問題点を理解し、目を背けず、分析し、創意工夫によって解決します。社会的に有効な施設であり続けるために、①広報活動を強化、②レジャー等多目的に施設を活用、③世界で活躍する選手を養成、④経費を最小限、⑤利用者数の確保、これらの仕組みづくりを行い、確実に施設の運用管理を行います。

#### 会社を挙げてカヌー・スラロームを応援

当社は \_\_\_\_\_ を通じて、カヌー・スラロームの日本代表選手を採用し、会社を挙げて応援しています。現在、大田区や町田市においてカヌー教室を開催するなど、カヌーの振興に取り組んでいます。



事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### 来場者目標達成に向けた考え方

私たちは、カヌー・スラロームセンターが社会的に有効であり続ける施設とすることが重要であると考えています。そのために、多くのお客様に来場いただく事を目指していきます。顧客のニーズを施設に反映させ事業を実施し、サービスを向上させることで、支援事業者として、都に協力して積み上げてきました年間入場者数、10万人を確実に達成する運営管理を行います。



- ① 葛西臨海・海浜公園の利用者に、その一部として利用促進【賑わい創出・周辺連携】
- ② 大会を誘致し、トップの技術を体感、する・みる・支える、愛好者を増やす【愛好者増】
- ③ カヌー・スラローム競技の普及、選手の育成に協力【スポーツ振興・競技の普及】
- ④ 水上スポーツ、レジャーなど、身近なスポーツや水難訓練として利用を促進【多目的利用】



### 利用目的別の来場者目標

来場目的ごとに来場者を区分し入場想定を立てることで、年間入場者数10万人を確実に達成します。

種類	詳細	説明	入場想定	内容
大会	選手	大会に出場する各競技の選手	1,100	②③
	関係者	大会役員、ボランティア、プレス、出店者、スポンサーなど	4,000	②③
	観客	大会観戦者、招待客、保護者など	4,200	②③
強化練習	選手・コーチ	競技団体が実施する国内・国外の強化練習	4,300	③
水難訓練	消防・警察等	消防・警察・自衛隊が競技コースを利用した水難訓練	1,300	④
ラフティング	ツアー	競技コースを利用した2.5時間のラフティングツアー	13,400	④
	アトラクション	ウォーミングアップコース活用の当日参加のラフト体験	22,500	①④
個人利用	コース	競技選手など競技力を持った選手による個人練習	6,800	③
	フィニッシュプール	愛好者個人練習（ウォーミングアップコース利用可）	10,900	③④
教室	カヌー・サップ	フィニッシュプール教室事業参加者（カヌー・サップ）	1,200	④
	ヨガ・ランニング	緑地や会議室を利用してのヨガやランニングなどの教室	1,000	①
イベント	集客イベントや公園と連携したイベント来場者		6,900	①④
フィニッシュプールレジャー	ボート貸し出しやウォーターバルーン、水上遊具などの利用者		22,400	①④



### 来場者増加の具体的取組（例）

- ◆世界に向かって強化練習の合間に**都市観光ができる施設**（都市型施設）であることをアピールします。
- ◆公園利用者向けのウォーミングアップコース利用の濡れないラフト体験を実施します。
- ◆フィニッシュプールでウォーターバルーン・水上遊具など公園利用者向け事業を実施します。
- ◆チームビルディング等の利用促進の為、**旅行代理店体験事業パンフレット**を活用します。
- ◆江戸川区カヌー協会と協力し**地域の愛好者を増やし、地域のジュニアの育成を支援**します。
- ◆緑地や会議室を利用したジョギング・ウォーキング・ノルディックウォーキング教室、ヨガ教室などを実施します。
- ◆土日はキッチンカーなどのケータリングで賑わいを創出します。
- ◆日本カヌー連盟・東京都と連携し、「**ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設**」の申請を検討します。

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 1 [管理運営の基本方針]

### ● ● ● ● ● 来場者増加のための基本的取組事項

安全の確保をはじめとする、6つの基本的取組事項を実施することで来場者増加に繋げます。

安全の確保	常に安全性の確保を優先し、利用者等に対して安心して過ごせる空間を提供します。施設の利用の形態ごとに、 <b>全施設を網羅する監視体制</b> を構築します。
サービス向上	施設に対する要望・意見を確実に聞き取ることで利用者ニーズを把握し、利用者へのきめ細かい柔軟な対応に努め、施設のサービス・魅力向上に努めます。
PDCA の活用	利用者ニーズをくみ取る仕組みとして、東京都と連携して当社 ISO9001 に沿った、 <b>施設の魅力を向上させる P D C A サイクル</b> を構築します。
施設の効果的 活用で魅力向上	効率的・効果的に多目的な活用ができるように、開場時間・休館日を設定し、その上で、弾力的な運用を行い、活用しやすい施設を目指します。
	利用者ニーズを把握し、教室や体験などの事業に反映します。事業参加者には必ずアンケートを実施し、フレキシブルに時間帯、指導方法を変更します。
施設の PR	施設で行われる大会、行事、事業の予定をはじめ、 <b>施設の魅力を国内外に発信</b> します。ホームページ、SNS など、多目的な人々に入手可能な情報発信手法を活用します。
レガシー	オリ・パラ大会前はその機運醸成に努め、後利用では、スポーツやオリ・パラに関する資料の収集・保管及び提供を行い、スポーツ活動の水準の向上を図ります。

### ● ● ● ● ● 来場者増加、稼働率向上のための PR 活動

- ◆ 本施設の強みであるラフティングやカヌー教室など、体験事業活性化のためにPR活動を積極的に行います。観光は受動型から体験型へとニーズが移ってきており、本施設では、個人単位の体験観光のほか、修学旅行や企業研修など団体利用者も多く見込めます。旅行代理店の体験ツアーの広報誌（**関心表明取得済み**）やホームページ・SNSなどを活用します。

個人向け機会体験型	団体向け地域交流型
<p>例</p> <p>多様化する個人旅行者向け、体験が主となる<b>日本最大級のレジャー予約サービス</b>。地域性あるコンテンツ掲載。</p>	<p>例</p> <p><b>地域振興や交流</b>を目的とし、その地域ならではの<b>特色</b>を活かした団体客や修学旅行生に向けた旅行企画商品。</p>

#### 【体験事業のプロモーション活動】

- ◆ 多様な媒体を用いることで、多世代や人種などさまざまな方を網羅して情報を発信、拡散します。

#### 【多様な広報媒体と対象】

媒体	プロモーション概要	主要対象
Web	見やすくわかりやすいホームページの開設と更新	不特定多数
S N S	ホームページとの併用で <b>多角的に情報発信</b>	若年層・不特定多数
地域プロモーション	目に見える地域振興の推進	都民・全国
紙媒体	<b>カヌー・スラローム要覧の発刊</b> 、パンフレット・チラシの作成・配布 新聞、旅行誌、情報誌への積極的掲載	周辺住民・高齢者 都民・全国
東京都広報ツール	東京都広報ツールで都民へ向けた広報活動	都民
テレビ・ラジオ	テレビ・ラジオ放送等 <b>パブリシティの取り組み</b>	都民・全国

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 1【管理運営の基本方針】

### 国際・国内大会誘致目標に向けた基本方針

私たちは、競技団体と連携し、国際大会1大会、国内大会6大会を誘致します。大会誘致は国際競技力の向上の側面、競技の普及の側面からも施設にとって重要な取り組みになります。競技団体と協力して大会を積極的に誘致するとともに、国際大会時に集客イベントを実施するなど大会を盛り上げ、トップクラス選手の技術を身近に感じる機会を通して、人々に新たな感動を実感できる場を創出します。同時に競技に対する人々の関心を高め、競技者層のすそ野の拡大を図ります。



- ① カヌー・スラローム以外にも、ワイルドウォーター・フリースタイル他、複数種目の大会を誘致
- ② 各競技団体と連携し、誘致活動を強化
- ③ 地元江戸川区カヌー協会と連携し、大会協力ボランティアを育成
- ④ ホームページ・SNSを使った情報提供。都市型施設の魅力を発信



#### 競技団体と連携し、多種目の水上スポーツの大会を誘致

◆競技種目や大会の規模に応じて、多種多様な水上スポーツ競技に利用できる施設を実現します。



トップアスリートが葛西に集結



【さまざまな水上競技大会の誘致】



#### 大会の誘致で競技者層のすそ野の拡大を図り、相乗効果により好循環を創出

◆大会の開催は、選手に出場機会を与え、経験を積むことが出来るため、競技力向上の効果を持っています。また、トップクラス選手の技術を身近に感じる機会を通して、「する」「みる」「支える」水上スポーツの愛好者のすそ野拡大が期待できます。

競技者人口の増加は、トップの技術を引き上げる効果を生み相乗効果が生まれます。大会を積極的に誘致することにより、これら好循環を創出し、施設の社会的意義を高めていきます。



事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 1 施設の提供

### (1) 休館日及び開場時間

#### 施設提供の実施方針

私たちは、本施設の支援事業者としてのノウハウや、構築した関係団体との万全の連携体制を最大限に活かし、本施設を余すことなく効率的に活用した施設提供を行います。

利用者の安全・安心を第一としながら、利用者がそれぞれの目的で活動できる場とサービスを提供することで、相乗作用をもたらし、都民の水上スポーツやレクリエーションの機会と賑わいを創出とともに、水上競技の競技力向上に寄与します。



- ① 施設の公平・平等利用を推進する仕組みを構築
- ② 水上競技大会の積極的な誘致と大会の計画・運営をサポート
- ③ 施設全体を活用する運営で都民のレジャー活動を創出
- ④ 異なる利用ニーズを両立させる効果的・効率的な運営管理
- ⑤ 専門企業と連携体制を構築した安全で快適な施設を提供



#### 公平・平等な施設とするためのルール・手順づくり

◆私たちは、**公平・平等の確保が、最も重要な施設運営上の原則**であることを認識しています。人工カヌー・スラローム会場は日本初の施設であり、多様な利用目的を持ったお客様に対して納得いく、ルール・予約手順を新たに作成し、そのルール・手順をしっかりと守っていくことが公平・平等への第一歩だと考えています。また外国人利用も見込まれる施設です。**宗教・人種・国籍など差別意識の排除**を徹底します。

#### 公平・平等利用を推進する仕組み

1 すべての利用者が納得できるルール作り ルールに従った施設運営	運営・業務管理のルールを明確化することで、公平・平等を確保する指標とします。すべての競技の関係者や選手・レジャー利用者が納得できるルールを定め、利用規則を施設内の見やすい場所に掲示します。守るべきルールを公表して、利用者に説明しご理解いただきながら、私たちもそのルールに則って業務運営を行います。
2 予約手順の作成による透明性の確保	本施設の多目的な利用者に、公平に施設を貸し出すためには、 <b>予約の手順が重要</b> だと私たちは考えています。優先利用の重複の処理や、一般利用時間割の作成、当日の予約外の受付などの部分が齟齬の発生しやすい部分です。場当たり的な対応ではなく、あらかじめ問題となりそうな事例を手順書に盛込み、作業に当たることで <b>透明性を確保</b> します。
3 施設利用状況の公開	本施設は多目的に利用される施設で、常にすべてのお客様が利用可能な施設ではありません。施設の開放内容や予約状況を利用者に <b>公開</b> し、 <b>公平な予約受付、平等な当日受付</b> を実施します。
4 便利な「利用手引」の作成	施設の内容、手続き方法、料金、アクセスといった全ての内容が一冊で分かる <b>手引・施設ホームページを作成</b> します。多くの外国人の利用も予想される施設となりますので、 <b>多言語に対応</b> します。
5 利用者意見に沿った一般利用時間割の作成	優先利用が確定した後、 <b>6か月前に一般利用の時間割を作成</b> します。選手や愛好者、レジャー利用者の利用率、希望を聞き取り、 <b>偏りなく様々な利用者の意見を聞き入れ</b> 効果的な時間割を作成します。
6 ユニバーサルサービス	世界でも珍しい都市型のカヌー・スラローム施設となる事から、多くの外国人の利用が見込まれます。 <b>社会的弱者支援</b> に対する一般サービスに加え、 <b>多言語対応</b> や宗教・人種・国籍などに対する <b>差別意識の排除、海外文化への理解</b> など、様々なサービス向上によって平等利用を促進します。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2[施設の提供、運営に関する業務]1 施設の提供

### ● ● ● ● ● 水上競技大会の積極的な誘致と大会の計画・運営をサポート

- ◆ 日本カヌー連盟や各競技団体と連携し、カヌー・スラロームの他、レースラフティングやワイルドウォーター・カヌーフリースタイル・カヌーポロなど、競技大会（国際1大会、国内6大会）を確実に誘致します。
- ◆ 国際大会などは広報の都合、他国の施設との競合から、最低3年前には予約を確定させる必要が出てきます。優先利用の予約手順を工夫し特例として確定時期を早める対応方法を検討します。
- ◆ 日本初の人工カヌー・スラローム施設で、国際競技力向上を目指す強化拠点としての機能を発揮するため、レジャーとの共同利用時以外に競技専用利用などの時間を設け、利用しやすい施設を目指します。
- ◆ 大会開催時には、当社のイベント担当部門が、会場運営・警備スタッフを派遣し、来場動線計画のアドバイスや臨時スタッフの配置など主催者や関係機関をサポートし、快適なスポーツ空間を実現します。



### ● ● ● ● ● 施設全体を活用する運営で都民のレジャー活動を創出

- ◆ 競技施設をはじめ、会議室や競技施設脇スペースなど施設全体や公園、海など周辺施設を含め、施設を余すことなく活用した事業を計画し、都民のレジャー活動を創出します。
- ◆ 多様なレジャー事業それに専門団体の協力をいただき、都民の利用ニーズに確実に応え、魅力ある事業を展開します。
- ◆ 本格的なレジャー事業だけではなく、公園の利用者が立ち寄り楽しむことが出来る、ウォーターバルーンやラフティング体験などの濡れないアクティビティも提供します。水上スポーツやレジャーを普及するため、初心者をターゲットに必要な貸出備品の充実を図り、いつでも気軽に、手ぶらで教室などに参加できる施設とします。

施設	事業	協力・連携など
競技コース	ラフティングツアー	ラフティング協会
フィニッシュプール	サップ・カヌー教室	カヌー協会など
会議室	ヨガ	有資格インストラクター
親水エリア	ケータリングサービス	飲食事業者など
親水エリア・施設外	自然学習	地元町内会など

【施設を活用した提供事業一例】



【水難訓練・ラフティングチームビルディングイメージ】

### ● ● ● ● ● 異なる利用ニーズを両立させる効果的かつ効率的な管理運営

- ◆ 海外施設の運用方法や競技団体へのヒアリングを基に、多様な利用ニーズに応える施設の運用ルールで効率的な稼働を実現します。（詳細、課題2-2(1)に記載）
- ◆ 4月平日の企業のチームビルディングでの利用や、冬期の消防による水難救助訓練など、防災訓練施設として利用いただくなど、さまざまな形で施設を活用します。

### ● ● ● ● ● 専門企業と連携体制を構築した安全で快適な施設を提供

- ◆ チェックリストを用いた施設開場前点検の実施と2か月間の定期メンテナンス休館を設け、安全で安心な施設を提供します。施設の要となる揚水ポンプのメンテナンスについては特に、ポンプメーカーの協力を得て、施設開設前の事前の操作等の説明や、連絡体制を構築することで、万全の管理体制で臨みます。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2[施設の提供、運営に関する業務]1 施設の提供

### 施設の休館日及び開場時間設定の考え方

「東京都体育施設条例施行規則」を原則に、関係団体へのヒアリングや類似施設の利用状況から本施設のニーズを想定し、誰もが利用しやすく、効果的で効率的な開場時間、休館日をご提案します。設定内容につきましては、開場時間の延長や休館日の団体利用など利用者ニーズ、利用状況を踏まえながら、都と協議の上、柔軟に対応してまいります。



- ① 関係団体などへのヒアリングから利用ニーズを踏まえた開館時間の設定
- ② 安全性の確保と利用需要時期を考慮した2か月間のメンテナンス休館の設定
- ③ ポンプの効率的な稼働を考慮した冬季競技コースの休場日を設定



#### 休館日について

- ◆利用者の利便性の確保と、安全で快適な施設環境を提供するため、**施設ごとの休館日をご提案**します。
- ◆競技施設（競技コース、ウォーミングアップコース、フィニッシュプール）は、1月・2月に2か月間の休館とし、施設の定期清掃と保守点検を実施します。（排水、給水時間を勘案すると2か月は最低限必要・閑散期に実施）
- ◆利用を集中させ、揚水ポンプを効率稼働させるため、冬期開場期間中（3/1～4/28、11/1～12/28）の競技コースは、毎週月曜日を休場とします。ただし利用予約が多い場合は、柔軟に対応します。

【休館日の設定】		
施設区分	休館日	
競技施設	競技コース	年末年始及び1月・2月、冬期開場期間の毎週月曜日（祝日の場合翌日）
	ウォーミングアップコース フィニッシュプール	年末年始及び1月・2月
親水エリア		年末年始及び1月・2月
艇庫（貸艇庫）		保管は通常利用可（年末年始出庫等不可）
トレーニング室		年末年始（12/30～1/3）
会議室		
駐車場		年末年始（12/30～1/3）
※通常開場期間 4/29～10/31 冬期開場期間 3/1～4/28、11/1～12/28		



#### 開場時間について

- ◆通常開場期間（4/29～10/31）冬期開場期間（3/1～4/28、11/1～12/28）に分け、**利用ニーズ**に沿った効率的な開場時間を設定します。
- ◆関係団体や競技者へのヒアリングから、**競技コースの早朝利用ニーズ**などに配慮した開場時間とします。
- ◆競技コースは、揚水ポンプの効率稼働のため、開場時間内において利用枠を設け、原則予約制とし、**利用を集約して運営**します（詳細、課題2-2（1）に記載）。
- ◆夏季限定で**夜間の競技コースのラフティングツアーア用**を検討します。仕事帰りの会社員などの利用ニーズや、バードサンクチュアリと言われる周辺環境への影響などを考慮し、実施を検討します。
- ◆団体等の貸し切り利用につきましては、大会設営撤去など要望により柔軟に対応します。

#### 【開場時間の設定】

施設区分	東京都体育施設条例	ご提案開場時間		設定事由
		通常期	冬期	
競技施設 ・親水エリア ・艇庫	9時から 17時	7時から 18時	7時から 17時	関係団体等のヒアリングから通常期は <b>早朝、夕方に競技利用ニーズ</b> が想定されるため開場時間を延長します。同様に冬期は、日没も踏まえ早朝のみ時間を延長します。
トレーニングルーム		8時から19時		トレーニングルームは選手の <b>練習後のクールダウン利用</b> などを想定し、競技施設に合わせて開場時間を延長します。会議室は予約制とし、同様に延長します。
会議室				
駐車場		6時から 20時	6時から 20時	開場時間に合わせ、利用者が余裕をもって利用できる時間を設定します。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2【施設の提供、運営に関する業務】1 施設の提供

### (2) 利用の調整

#### 施設の利用調整の実施方針

本施設の優先受付制度の基準に則り、国際競技大会や団体、個人など、各利用者のニーズにあった施設の予約受付スケジュールを構築し、利用者が不公平感を抱かない仕組みと、公平で平等な対応で、施設の使用承認、利用調整を行います。



- ① 各利用形態の予約検討時期を考慮した利用調整を実施
- ② 競技コースのポンプ稼働を効率的な運転にするため、利用を集中させる運用を実施
- ③ 東京都スポーツ施設予約システムへのスムーズな移行を実現



#### 施設利用調整業務

東京都施設条例施行規則に則り、 <b>公平な施設の使用承認</b> を行うことで、円滑な利用促進を図る。
競技コースは原則予約制とし、 <b>受付段階で利用時間を集約</b> するよう利用調整に努め、効率的に施設を運用。
競技コースの予約受付時は、特に利用当日に技術確認などをを行う旨を伝え、 <b>当日の円滑な利用</b> に繋げる。
東京都スポーツ施設予約システム導入前は PC で予約管理をし、 <b>予約状況</b> をホームページに <b>リアルタイムで反映</b> 、公表して利用促進に繋げる。
予約システム導入前に予約システムの維持管理を担当している指定管理者に協力依頼し、事前研修を実施。
専用利用は、予納金制度を採用。またクレジットカード及びデビッドカードの支払いも可能。

国際大会などは 3 年前に利用の確定が必須で、学校行事も 1 年半前には予約の確定が必要です。優先受付制度の基準に基づき利用受付を実施しますが、例外も事前に検討し、積極的に受け入れを行います。

【各利用形態の主な予約検討時期】			※関係団体や旅行会社へのヒアリングなどから作成								
利用形態	大会専用使用		その他専用利用				個人利用				
団体など	国際大会	国内大会	競技連盟	消防	撮影	修学旅行	企業研修	学校サークル	選手	愛好家	個人
予約検討期間	3年前 に決定	3年周期 で計画	1年前	利用直前	1年前	1年半前	月単位	月単位	週単位	直近 が多い	

#### 使用申請から承認決定までの流れ

#### 予約検討時期を踏まえた使用申請

利用形態	専用利用				個人利用			
	優先受付		一般受付		一般受付		ラフティングツアーコース	
施設	施設全体(競技施設・会議室) /競技コース/フィッシュプール(区画貸)/会議室				競技コース			
1 利用申請	事業計画書提出 <b>使用月年度の3年前</b> ～前年度6/30	窓口持参または郵送等 ・計画書などの内容確認 ・打合せ、状況に応じ計画支援	電話・窓口 導入後は加えて予約システム ・利用内容などの確認 ・競技施設使用基準の確認	使用月の6か月前の月初日	電話・窓口 導入後は加えて予約システム ・利用内容などの確認 ・競技施設使用基準の確認 ・利用契約等、利用調整	使用月の3か月前 の月初日	電話・窓口 導入後は加えて予約システム ・利用内容などの確認 ・参加条件の確認 ・利用契約など、利用調整	使用月の3か月前 の月初日
2 使用仮承認	使用月年度の前年度8/31迄	優先基準に則り仮承認	使用申請当日	申し込み開始日は抽選 以降先着順	3日前迄	下限人数に予約が達した時点で利用者へ連絡：仮承認	使用申請当日	同枠予約が5名に達した時点で利用者へ料金割引連絡
3 予納金納入・使用承認	仮承認から2週間以内	利用料金の10%納入確認後承認、領収書発行	申請日から1週間以内	利用料金の10%(使用の1か月以降申請の場合は一括)納入確認後承認、領収書発行 当日、競技使用基準確認	予納金なし	使用当日、競技使用基準確認をもって承認	予納金なし	使用当日、ツアーパートナーアクセス券をもって承認
4 残金納入	使用日の2か月前	申請日から1か月以内			使用当日全額窓口納入			使用当日全額窓口納入

※ウォーミングアップ・フィッシュプールの個人利用及びトレーニングルームは予約不要、当日利用

#### 競技大会とラフティング等の予約が重複した場合の利用調整方法

ラフティング事業は、都民のレジャーを創出するとともに、本施設の継続的な運営を収入面で支える事業です。ラフティングの需要が見込まれる7月～9月は、都又は都教育委員会の主催事業や国際競技大会などの大規模大会以外は、ラフティング利用を優先した利用調整を行います。

7月～9月以外は優先利用の受付の通りに競技大会を予定し、6か月前に、空いた時間で時間割を作成し、一般利用、ラフティング利用を決めていきます。6か月以降は、基本的に大会受付は行いません。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

**提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕1 施設の提供**

**(3) 利用料金**

事業者名・団体名

株式会社 協栄

**提案課題 2〔施設の提供、運営に関する業務〕1 施設の提供**

事業者名・団体名

株式会社 協栄

**提案課題 2【施設の提供、運営に関する業務】1 施設の提供**

(3) 利用料金 <別表料金表>1/2

事業者名・団体名

株式会社 協栄

**提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 1 施設の提供**

(3) 利用料金 <別表料金表>2/2

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2【施設の提供、運営に関する業務】2 施設の運営

### (1) 競技施設運営業務

#### 競技施設運営業務の実施方針

日本初のカヌー・スラローム場である本施設は、競技からレジャーまで多目的な利用がなされる施設となります。施設の運用ルールを整備し、万全な安全管理体制を構築することで、初心者や愛好家、競技者など、すべての利用者が安全かつ快適で衛生的に施設を利用できるよう運営します。



- ① 海外施設や関係団体のヒアリングを基にした運用ルールで効率的に多目的利用に対応
- ② 運営を通して水辺の楽しみとともに危険、セルフレスキューを利用者に伝え、安全を啓発
- ③ 利用者の技能チェックと施設利用登録を行い、安全利用と事故を防止
- ④ 知識と技能、経験を有する者を常駐させ、初めて利用する方にも安心して利用可能に

#### ● ● ● ● ● 競技利用・都民利用それぞれに配慮した施設の運営

- ◆ 競技利用と都民利用を両立させることは、水上競技の普及と施設の賑わいの相乗効果をもたらす、本施設運営の命題となります。利用の目的、利用者の技能による明確なエリア分け、利用ニーズに沿った利用時間枠の設定をすることで、すべての利用者に、安全で快適に利用いただけます。

#### 競技施設の運用方法

##### 競技コース

- 海外類似施設や関係団体からのヒアリングをもとに、カヌー・スラロームの専用時間と共用利用時間に区分した利用時間枠を設定します。（下記個人利用枠参照）
- ポンプ稼働に電気代がかかることから、ラフティングツアー以外の利用枠は利用の下限人数（10名）を設けて受付を調整し、利用集中を図る時間帯と下限人数を設けない競技利用時間枠を用意し、競技利用に配慮します。
- カヌー・スラロームの専用時間はコースに競技用ゲートを設置し、練習環境を整えます。共用利用時間はゲートを設置せず、カヌー・スラロームの他、ラフティングやカヌーフリースタイルなど多目的に利用いただけます。

#### ＜個人利用枠（通常期）＞1枠 10名以上の利用可能（☆…土日祝は人数に関わらず利用可能）

利用形態	1セッション	1日回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
カヌースラローム ゲートあり	60分	5セッション		①	②☆	③							④	⑤
共用 ゲートなし	90分	4セッション						①		②	③	④		
ラフティングツアー (必須自主事業)	90分	4セッション					①☆		②☆	③☆	④☆			

#### ウォーミングアップコース・フィニッシュプール

- 一般個人利用は、時間枠を設けず、初心者をはじめ利用者みなさまに気軽に利用いただき、施設の利用機会を拡大します。また、通常の一般公開においては、ウォーミングアップコースのポンプの稼働台数を調整し、初心者や中級者に利用しやすいコース設定をします。
- ウォーミングアップコースの流水は、ポンプを効率的に運用するため当面は下記の通りの運転とし、利用ニーズに応じて稼働を増やしていきます。
- フィニッシュプールのウォーターポロなどの区画貸し切り利用の際は、ブイにより水域を区分け管理します。

#### ＜ウォーミングアップコースポンプ稼働時間（通常期）＞

7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
	稼働なし	ポンプ稼働		稼働なし		ポンプ稼働		稼働なし	ポンプ稼働		

#### ● ● ● ● ● 安全な施設運営に配慮した安全管理の考え方

- ◆ 水上競技やレジャーを行うためには、楽しさとともに水の危険について学習し、利用者本人が自分を守るセルフレスキューを身に着けることが必須です。事業を通して、セルフレスキューファーストの大切さを利用者へ伝えることで、水難事故を未然に防いでいきます。その上で、専門知識と技能を有するスタッフの適切な配置と、継続的な訓練を実施し、事故の防止と有事の際の迅速な救助・救護を適切に行います。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 2 施設の運営

### 入退場管理業務

- ◆施設受付で、施設の使用基準に基づき、利用者の技術と用具の確認、利用可能エリア、注意事項などを説明し、利用規則や自己責任による事故への同意などを記載した「**利用承諾書**」にサインをいただきます。
- ◆技術確認は公認カヌー指導員が、ウォーミングアップコースで行い、その後、競技コースを漕いでいただくことで確認します。技術確認後は**使用技術認定証**を発行し、以降は認定証の確認をもって技術確認とします。
- ◆各使用承認に応じてカラー分けした**ナンバー入り競技コース許可ビブス**を貸与し、着用いただきます。これにより、競技コースの利用時間管理や、利用承認の受けていない方の競技コースの侵入を防ぐなどの安全管理を徹底します。

【技術認定基準（例）】

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| ① | エキスマーロールができる            |
| ② | ボートを約45度傾けながらコントロールができる |
| ③ | テレマークターンができる            |
| ④ | スイープターンができる             |
| ⑤ | 泳いでしまった際の対処法ができる        |



【利用許可ビブスのイメージ】

### 施設監視業務・看護業務

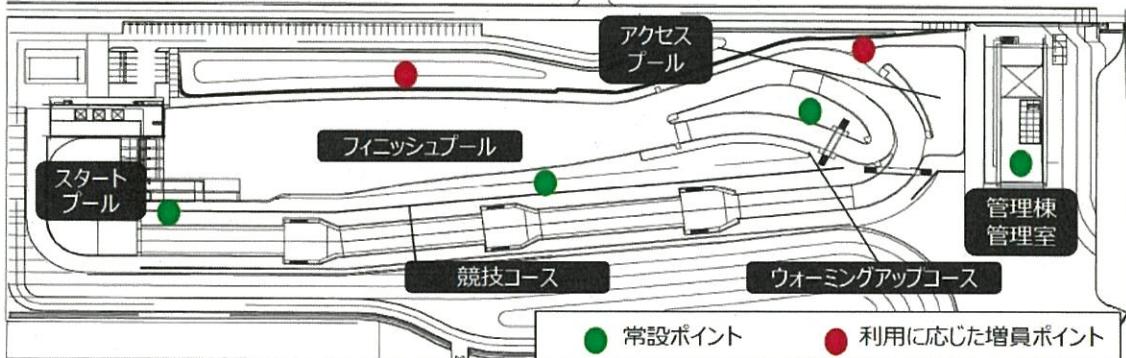
- ◆事故など各ケースにおける適切な対処方法等についてのマニュアルを整備して、定期的に訓練を実施し、安全管理の強化を図ります。また、監視員に限らず、施設のスタッフ全員がCPRを行える体制とします。
- ◆監視員にトランシーバーを常備させ、**日常・緊急時の連絡・監視体制を強化**します。また水難事故を中心に緊急時に即応できる**救急資機材を充実・配備**します。取扱い、使用方法、使用効果のスタッフ教育をし、万一の事態にも万全の体制を整えます。
- ◆カヌー教室やラフティングツアーなどの各種事業は、原則、参加者数に応じて**担当インストラクターやガイドを増やして安全管理**するとともに、施設の利用状況に応じて監視員を増員し、**監視体制を強化**します。

【救助資材・訓練資材一例】

CPRボード	リングブイ
エマージェンシースピレーター	レスキューチューブ
AED・AEDトレーナー	心肺蘇生ダミー

【安全管理体制配置ポスト】

ポスト	人数	役割等
管理室	1名	カメラによる全体監視指示、ポンプ停止
競技コース	1名	スタートプールでビブス等確認、コンベヤー停止
ウォーミングアッププール	1名	アクセスプール不在時はアクセスプール含
フィニッシュプール	1~2名	利用状況により増員
アクセスプール	0~1名	利用始・終了時に受付員で技能確認など



【競技施設の安全管理体制配置図】

### 競技施設の清掃業務

- ◆施設開場前にチェックリストを用いた各所施設点検を行います。競技施設水面についても目視点検を行い、必要に応じて、艇などを使用しゴミ等、浮遊物の清掃作業を行うことで、常に**安全で衛生的な施設環境を提供**します。また加えて1月～2月に**換水定期清掃・定期点検を実施**します。（詳細課題5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務に記載）

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2【施設の提供、運営に関する業務】2 施設の運営

### (2) トレーニングルーム運営業務

#### トレーニングルーム運営業務の実施方針

葛西臨海公園や周辺には多くのランニング、サイクリングなどの愛好者と、水辺のレジャーを楽しむ方がおり、本施設をはじめとする施設や公園が集積される臨海ウォータースポーツエリアは、これらの活動が今後より活性化されていきます。本施設は、これらの活動を支える拠点として、またカヌー・スラロームの競技別強化拠点施設の申請を視野に、一般的の利用者と競技者が、安全で快適に、相互に利用しやすいトレーニングルームの運営を行います。



- ① 知識と経験を有したスタッフの配置と利用者へのお声掛けで継続利用をサポート
- ② 利用者の安全で効率的な運動を支えるビギナー講習と個人カルテの作成
- ③ 異なる利用者層が安全で快適に利用できるゾーニング
- ④ マシン台帳を作成と日常・定期点検による安全・安心なトレーニング環境の提供

##### ● ● ● ● ● 知識と経験を有したスタッフの配置と利用者へのお声掛けで継続利用をサポート

- ◆ 健康運動指導士などの資格を有す、5年以上のトレーニング指導の経験を有するスタッフを配置し、マシンの正しい使用方法や運動効果を説明し、効率的で安全なトレーニングをサポートします。
- ◆ 本施設の特長である、エルゴマシンなどのカヌーのトレーニングに有効なマシンの取り扱いについての指導経験のあるスタッフを配置し、競技者や愛好家の底辺拡大に努めます。
- ◆ 全スタッフに救命講習を受講させ、不測の事態にも適切に対応できるようにします。
- ◆ 障がい者スポーツ指導員を配置するとともに、全スタッフがサービス介助講習会を順次受講をし、誰もが利用しやすい環境を提供します。
- ◆ スタッフが積極的に声掛けを実施し、施設に不慣れな方をサポートし、スポーツの習慣化を手助けします。

積極的な“お声掛け”  
による  
スポーツ継続を支援

民間スポーツクラブによると、8割以上の  
方が6ヶ月以内に退会されるとのデータ  
があり、最初の6ヶ月を継続することができ  
れば運動を習慣とすることができます。

【利用者への“お声掛け”イメージ】

##### ● ● ● ● ● 利用者の安全で効率的な運動を支えるビギナー講習と個人カルテの作成

- ◆ 初めて利用される方には、原則ビギナー講習を受講いただき、機器の使用方法や、運動効果などを説明し、安全で効率的なトレーニングが行えるよう指導します。
- ◆ 個人カルテを作成して、個人の体調管理やトレーニングの記録を記入することで、トレーニング意欲の向上と体調管理に役立てます。
- ◆ 無料でストレッチ教室（15分程度）の実施やモニターの活用、掲示などによりトレーニング方法をアドバイスするなど、利用者各自でも効果的にトレーニングが実施できるようにして、利用者の事故の防止と健康増進に寄与します。



【個人カルテ・ストレッチ教室イメージ】

個人カルテの作成やストレッチ教室で初心者が安全で継続しやすい環境を整えます

事業者名・団体名

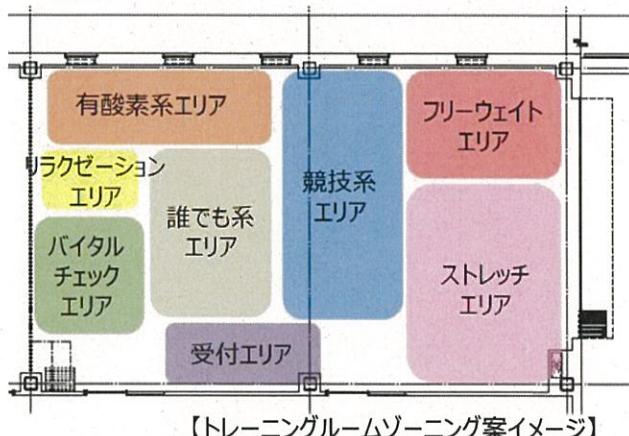
株式会社 協栄

## 提案課題 2【施設の提供、運営に関する業務】2 施設の運営

### ● ● ● ● ● 異なる利用者層が安全で快適に利用できるゾーニング

- ◆ 東京都と協議し、競技者と一般利用者の利用がなされることに配慮した、安全なトレーニングマシンのレイアウトとマシンをご提案します。

カウンターから、トレーニング室内のマシンを見渡せ、死角がないレイアウトとすることで、利用者の <b>安全利用と事故防止</b> に努めます。
競技者が多く利用すると想定されるエルゴマシンやフリーウェイトをまとめた競技エリアと、多くの一般利用者の利用が見込めるトレッドミルなどの有酸素エリアに分けた <b>ゾーニング</b> をご提案します。
ストレッチエリアやバイタルチェックエリアを設け、トレーニング前後のケアスペースを確保することで、すべての <b>利用者の体調管理</b> に役立てます。
施設やエリアの特性上、自重トレーニングやバランスボール、メディシンボールでのトレーニングなど、マシンを使わない利用も多くされると想定します。ストレッチを含め、多目的に利用できるスペースとして <b>広めのストレッチエリアの確保</b> をご提案します。
トラブル防止のため、ランニングマシンなど使用に時間と空間を有するもの、筋力トレーニングマシンのように独占利用が懸念される器具は特に、 <b>利用ルールを明確化</b> して、公平な利用をご案内することで、安心して利用いただける環境をつくります。また各器材にタオルを置いて、使用後に利用者にもグリップ部分などを拭いていただき、皆で気持ちよく使っていただける環境を創出します。
クランクサイクルなど障がい者や初心者、高齢者にも利用できるマシンや女性の利用も視野にリラクゼーションマシンの導入をご提案します。



### 魅力あるトレーニング施設のゾーニング

- ①**信頼できるインストラクター**  
経験豊富なスタッフ配置と効果的なアドバイス、安全管理を実現するため、マシン全体を見渡せる受付エリア、利用者別のゾーニング
- ②**安全で使いやすいトレーニングマシン**  
施設利用者特性を捉えた、水上競技者用マシンと誰もが利用しやすいマシンの配置
- ③**快適な室内環境**  
スタッフが適宜、整理整頓を行うとともに明確なルールの明示とお声掛けで利用者の利用マナーを醸成

### ● ● ● ● ● マシン台帳を作成と日常・定期点検による安全・安心なトレーニング環境の提供

- ◆ 東京都と協議し、競技者と一般利用者の利用がなされることに配慮した、安全なトレーニングマシンのレイアウトとマシンをご提案します。

各マシンに台帳を作成し修繕点検記録を記載	ワイヤー留め具などは毎日チェックリストに沿って点検
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用マニュアル・整備点検マニュアルを綴じ込んだ、利用方法・維持管理方法・点検/修繕履歴が一目でわかる台帳を作成し、マシンごとに管理します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 筋力系マシンのワイヤー留め具や溶接部分、ボルトの緩み・有酸素系マシンの異音等、危険箇所を洗い出し、チェックリストを作成します。このチェックリストに沿って毎朝点検し記録を残します。</li> </ul>
<b>月一回・年一回のチェック項目を洗出し、点検</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有酸素系マシンのベルトの摩耗等は、月一回。メーカーや本社担当者による総合診断を年一回実施します。各マシンのチェックリストを作成し、その項目に沿って点検を実施し台帳に記載します。</li> </ul>	<b>消耗部品は買い置きし利用中止期間を最短に留める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイク・トレッドミルなどのベルト等消耗品の交換については、現場で修繕できる技能を身につけ消耗品を買い置きすることで、利用中止の期間を最短にし、且つ経費を節減します。</li> </ul>

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

### (1) 施設内サービスに関する業務

#### 施設内サービスに関する業務の実施方針

本施設はオリンピック施設として、国内外からさまざまな方が来場される施設です。スタッフ全員がダイバーシティへの理解を深め、ユニバーサルサービスを提供するとともに、利用者ご意見を積極的に取り入れながら、継続的にサービスを向上させることで、いつでも誰もが利用しやすい施設とします。



- ① 利用者の意見を快適な施設づくりに反映させる仕組みを構築する
- ② 複数のモニタリングを実施して運営を多角的に評価、分析、確認し、サービス向上に繋げる
- ③ スタッフ全員がダイバーシティへの理解を深め、訪れるすべての人が利用しやすい施設とする



#### 利用者が快適に施設を利用できる取り組み

##### スタッフからの情報の日常集約

直接利用者と接する各スタッフを、情報収集チャンネルとして活性化する仕組みを構築することで、利用者、施設全般から「**生きた情報**」を収集、業務に反映させます。全スタッフにはトランシーバーを配備し、苦情、情報などをキヤッヂした際は、直ちに責任者へ連絡し、迅速な対応が取れる体制を構築します。

##### 利用者アセスメントの仕組みを構築

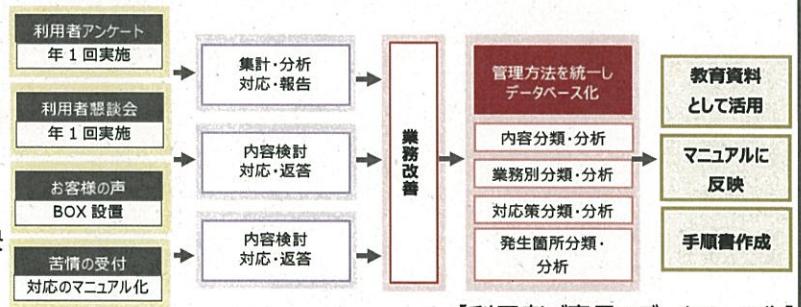
利用者から頂いた苦情や要望は、直ちに責任者から本社トップまで書類で報告し、運営管理する全施設に**フィードバック**し、**再発防止**に役立てます。苦情報告書ファイルは、スタッフが誰でも閲覧できるようにし、**情報の共有化**を図ります。全スタッフの閲覧確認は、名簿と捺印により責任者が毎日確認します。

##### ISO9001 を活用した利用者の意見の集約、業務改善

総合管理について取得している ISO9001 を標準化して、各業務におけるプロセスの監視・測定を行い、**高品質な業務管理**を実行しています。本施設にも、この基準に基づいて、利用者ニーズの集約、その内容に応えた業務改善を行う仕組みを導入し、運用します。

##### 利用者ご意見のデータベース化

- ◆ 収集したご意見を集約、一元的にデータベース化し、検索を行える仕組みを導入して、共有化を図ります。**再発防止の情報源**として、マニュアルや教本に情報を反映させ、研修教材として活用し、類似の問題発生時の解決など施設運営に活用します。



##### 複数モニタリングの実施

- ◆ 利用者ニーズの集約を積極的に行い、**運営を多角的に評価、分析、確認**をし、**サービス向上の糧**とします。モニタリング項目は利用者の意見、提案を盛り込み、対応策をまとめ都へ報告します。また協定書や事業計画書が適正で確実な遂行がなされているか確認します。

義務	都への報告	■ 業務実施の確認、収支状況等、都への定期日常業務報告の実施 ※収支報告書は、会計年度終了後1ヶ月以内に確實に提出
業務	第三者機関 利用者満足度	■ 日本体育施設協会による第三者モニタリングの実施（年1回） ■ 利用者アンケート（年1回）・利用者懇談会の実施（年1回） ■ 「お客様の声BOX」の設備、施設内掲示（週1回） ■ ホームページや電子メール等での利用者意見・要望の収集 ■ データ分析の強化および自己評価の実施
セルフ	定期検査 項目別検査	■ 本社担当と責任者により施設の運営・維持管理状況のセルフモニタリングの実施（2ヶ月に1回） ■ 総括セルフモニタリングの実施（年1回） ■ ISO・個人情報といった項目別社内監査の実施（年1回） ■ 評価基準に沿って、社内監査員が項目別モニタリングの実施

【複数のモニタリングの実施】

事業者名・団体名

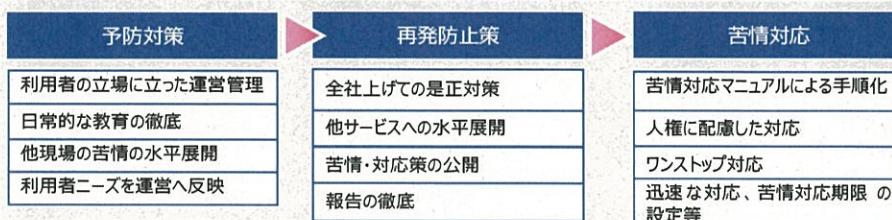
株式会社 協栄

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

### ● ● ● ● ● 苦情・意見を業務に反映させる仕組みづくり

- ◆利用者の多くは、サイレントマジョリティであることを十分認識して利用者からの苦情・意見に対応します。ご意見・要望（苦情）は貴重な情報源であるとともに**利用者の期待の表れ**でもあるという姿勢で、迅速かつ丁寧に対応し、**利用者満足の向上**、リピーターの獲得に取り組みます。そして頂いた情報源（意見・要望）はしっかりと記録し、原因追究から改善策まで行い、その結果を掲示等により、公表するとともに苦情・意見・要望対応マニュアルを構築し、運営改善に役立てます。苦情発生は必ず都へ報告するとともに利用者に対する説明責任を果たし、透明性を確保します。

#### サービスの向上



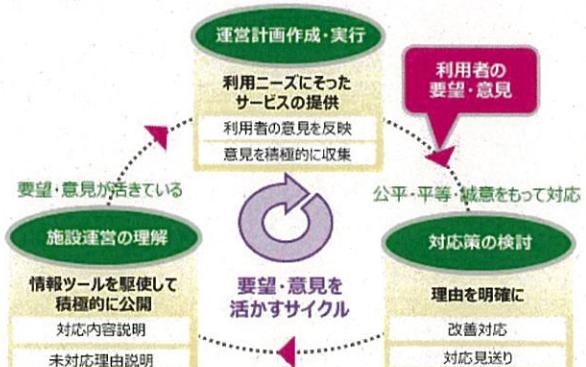
**利用者満足度向上・  
リピーター獲得へ  
つなげる業務改善**

#### 【苦情対応のフレーム】

### 利用者意見が業務改善に活きたことが分かる仕組みづくり

- ◆利用者の要望が施設運営に反映し、改善されたとしても、要望した方だけが知る情報であっては意味がありません。

それらの情報は積極的に公開し、要望は公平公正な立場で検討され、その結果が**具体的に業務改善へ反映されたか**を周知する仕組みを構築します。施設掲示板、モニターなどあらゆる情報ツールを駆使して要望内容、その対応、理由などの情報を公開することで、さらに有効な意見を引き出す環境を整えます。



### 多様な利用者への適切な対応

- ◆スタッフ対応から備品や施設諸設備に至るまで、障がい者や高齢者、外国人などが使いやすい施設、すなわち**施設を訪れるすべての方が利用しやすい施設**づくりをすることで多様な方々の利用を促進してまいります。また本施設が「誰もがいきいきと活動できる場」となることで、多層の交流を創出してまいります。

#### 【多様な利用者対応の具体的取り組み一例】

外国人	<ul style="list-style-type: none"> <li>英会話対応受付スタッフの配置、日々のミーティング時のワンポイント研修でスタッフの日常会話レベルの英会話習得</li> <li>タブレットを導入し、多言語へ対応</li> <li>英語表記の使用申請書や承諾書などを用意</li> <li>ケータリングサービスを行う際は、原材料を表示</li> <li>無線ルーターを設置し、インターネット環境を整備</li> </ul>	<p>【タブレット】 【サービス介助講習会】</p>
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツ指導員を配置と、スタッフ全員が<b>サービス介助講習会</b>を順次受講</li> <li>障がい者対応備品（車いす・室内用杖など）の整備・点検</li> <li>入場から退場までの支援と施設導線のチェック</li> </ul>	
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付に老眼鏡を設置</li> <li>広報はインターネットだけでなく紙媒体等も併用</li> <li>シャワー室等の急激な温度変化がない室温管理</li> <li>段差や滑りやすい箇所の<b>安全対策</b>と看板注意喚起</li> </ul>	<p>【誰もがわかりやすいピクトサイン看板】</p>
事業者名・団体名		株式会社 協栄

## 提案課題 2 [施設の提供、運営に関する業務] 3 施設内サービス及び東京 2020 大会のメモリアルの展示

### (2) 東京 2020 大会のメモリアルの展示に関する業務

#### 東京 2020 大会のメモリアル展示に関する業務の実施方針

東京 2020 大会では、多くの有形・無形のオリンピックレガシーが生まれます。特に大会関連の物品や資料は、直接的に大会の感動を都民に伝え、競技の普及や運動実施率またはボランティア意識の向上など、都民に大きな好影響をもたらすものとなります。私たちはメモリアル展示を効果的に、そして都民が身近に感じることができる展示とすることで、このレガシーを後世に伝えていきます。



- ① 関連団体と連携した、都民が東京 2020 大会をより身近に感じられる展示
- ② 展示を通して都民の環境・ボランティア活動への啓発
- ③ 国立美術館の管理実績を活かした確実な管理と展示品の説明
- ④ 他のオリンピック・パラリンピック会場施設との連携展示



#### 展示品の収集・保管・展示方法について

東京 2020 大会カヌー・スラローム会場として、本施設ならではの展示品の収集をします

##### 収集方法

##### 管理・展示方法

メダルや代表ユニフォーム、艇やパドル、映像、出場選手のインタビューなどに、競技に関連するものを競技団体などに協力を依頼し、収集に努めます。また **東京 2020 大会**を通じて入社し、**当社に所属するカヌー・スラローム日本代表選手へ展示品の提供を依頼します。**

東京 2020 大会中、大会後の本施設や葛西臨海公園、海浜公園などの周辺施設の写真など、施設に関する展示品、資料を東京都などに協力を依頼し、収集します。

**国立美術館の管理経験**を活かし、収集時に展示品の所有者、保管・展示方法、期間などについて、各団体と協議、確認をします。また展示品の内容、背景など、展示品にまつわるエピソードについて関連団体化などからヒアリングをし、魅力ある展示に活かします。

展示場所は 1 階ロビーがラフティング等の受付に使用するため、2 階ラウンジでの展示をご提案します。展示品により、**展示ケースや防犯カメラ**の設置等、東京都や展示品収集に協力いただく関連団体と協議の上、決定します。

開場時間終了後は、汚損、破損防止のため、展示品を移動させることなく、**入退館記録**をつけた上で、原則は、管理棟に施錠をして展示箇所での保管とします。

保管にあたり、警戒レベルを上げる必要のある展示品については、諸室での**施錠保管**や**ケース保管**など、各団体と保管方法について協議の上、対応します。

イベント開催など限定的に貴重品の展示ができる場合、必要に応じて**国立美術館の警備員**など、高いレベルの警備員の配置が可能です。



#### 展示内容について

- ◆ パドルなど**触れられるものの展示**をすることで、「インスタ映え」や、**より親しみが持てる展示**内容とします。
- ◆ 関連団体などからのヒアリングを基にしたマニュアルを作成し、**スタッフが展示品について解説**できるようにします。
- ◆ 競技団体に協力依頼をし、東京 2020 大会前に日の丸にカヌー・スラローム選手団への応援メッセージを記載いただき、競技団体を通して選手団へ**応援フラッグ**として渡します。大会後はメモリアル展示品とし本施設に展示します。
- ◆ 東京 2020 大会期間中のボランティア活動や環境活動に関する展示し、都民の活動への啓発をします。
- ◆ 他のオリンピック・パラリンピック施設と連携した、**スタンプラリーや施設巡回ツアー**をご提案します。



【展示品（例）】

オリンピアンの用具の展示のほか、**VRによる体験システム**や、オリンピック記念パネルの作成をご提案します。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
1 事業の提供

(1) スポーツ振興事業

### スポーツ振興事業の実施方針

私たちは、本施設の優れた機能や魅力を最大限に活用することで、水辺を中心としたスポーツ振興事業を実施していきます。急流エリア・静水エリア・親水エリアの各特性を活かすことで、さまざまな世代が楽しめる場を創出し、「健康・体力の維持増進」、「生涯スポーツの振興」、「生活の質向上」に寄与します。

また、国内唯一の人工コースでしか味わえない非日常体験を通して豊かな人間力を育てます。水辺スポーツやレクリエーションなど様々なアクティビティを体験する機会を創出することで愛好家を拡大し、競技者の増加を促進します。スポーツ振興事業を実施することで「好循環」を生み出すことを目指します。



- ① 水辺スポーツやレクリエーションの体験機会の創出
- ② 水辺スポーツやレクリエーション愛好家の拡大
- ③ 水辺スポーツの競技者拡大・地元からメダリストを輩出
- ④ 「観る人」、「支える人」の満足度を高める

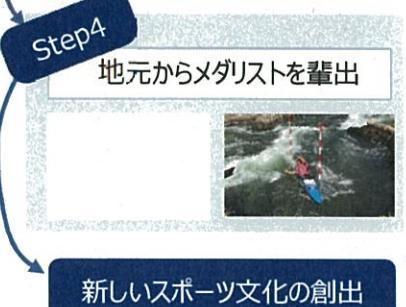
#### ● ● ● ● ● 水辺スポーツやレクリエーションの体験機会の創出

◆私たちは、国内唯一の人工コースでしか味わえない「**非日常体験**」を創出することで、水上スポーツやレクリエーションが持つ多様な魅力を通じて、身体的・精神的にも健康で充実した「**生活の質**」の向上を実現します。



#### ● ● ● ● ● 水辺スポーツやレクリエーション愛好家の拡大

◆私たちは、本施設を都会のオアシスとして位置づけ「**だれもが、いつでも、いつまでも、気軽に**」をテーマに気軽に体験できる体験教室を開催し、水辺スポーツやレクリエーションを通じてし、スポーツ活動を始めるきっかけを作ることで愛好家の人口拡大を図ります。また、愛好者が拡大することで、本施設を中心としたコミュニケーションの場としての発展が期待できます。



【事業を通した新しいスポーツ文化の創出】

● ● ● ● ● 「観る人」、「支える人」の満足度を高める

◆水辺スポーツの国際大会や国内大会などのイベントを開催することで、トップレベルの選手を身近にする機会を増やし、新たな感動を実現できる場を創出します。また、選手と直接触れ合える機会や選手と一緒にコースを体験するなどの「**共感**」を創出することで、満足度を高めています。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

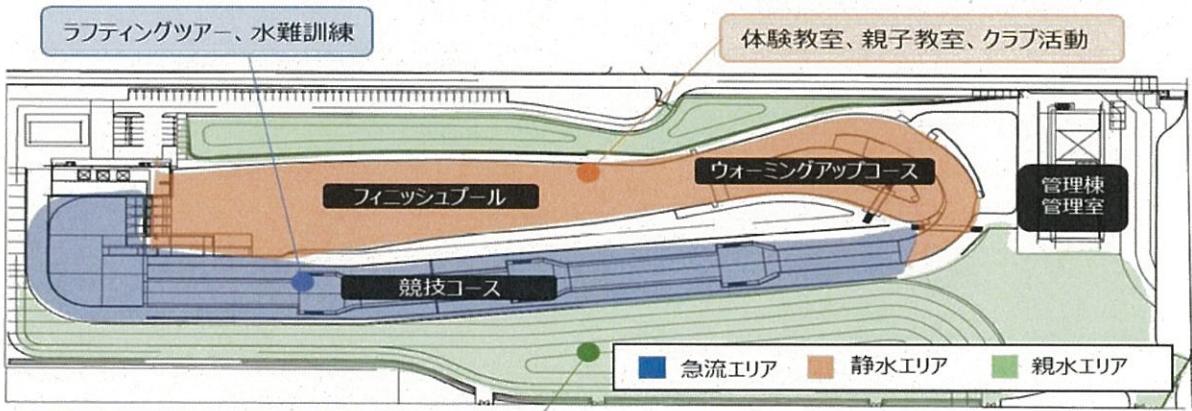
**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]**  
**1 事業の提供**

**スポーツ振興事業の具体的な内容**

◆私たちは、さまざまな世代が楽しめるスポーツ振興事業を実施することで、本施設を中心とした世代間交流を促進し、「また来たい！」と思う体験の機会を創出します。「仲間」、「家族」、「恋人」と一緒に、魔法のような1日を過ごせる心地よい場所を目指していきます。私たちは、時代の流れとともに人々の嗜好や興味は移り替わることを認識しています。何を求められているのかを常に考慮し、スポーツ振興事業を実施することで本施設の役割を果たしていきます。

**各ターゲットに向けた振興事業**

ターゲット	目的	事業（教室）
子ども	自然との触れ合い経験することで子どもの「意欲・関心」を引き出し、普段味わえない経験を通して、人間力の向上を目指します。また、豊かな自然環境を生かし、環境保全や水難教育における学習の場として活用を促進します。	●体験教室 ●自然学習活動 ●親子教室
女性	気軽に仲間と体験できる場を創出し、水辺スポーツやレクリエーションを通してスポーツに対する価値観を変えることで女性のスポーツ実施率向上を目指します。	●体験教室 ●クラブ活動 ●ラフティング ●集客イベント
働き世代	仕事や育児等で忙しい日常を離れ、非日常を体験することで、明日への活力を生み出します。また、アフター5や休日など様々なシーンにおいて仲間と一緒に体験することで豊かな人間性を育み、人と人との間に一体感を醸成することのできる事業を目指します。	●体験教室 ●クラブ活動 ●ラフティング ●集客イベント
障がい者	障がい者の自主的かつ積極的なスポーツを推進することを目的とし、水辺での触れ合いを通して、水の上に浮く「特別な感覚」を経験することで、五感を刺激していきます。	●体験教室 ●自然学習活動
指導者	スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象とした指導者からトップレベルの競技者を対象とした指導者まで、各レベルを対象とした指導者育成講習会を定期的に開催します。また、各団体と連携（RAJ 関心表明取得済み）することで人工コースの特性を生かし、水難救助に関する知識や資格を習得できる場を目指します。	●指導者講習会 ●水難訓練講習会



【スポーツ振興事業の実施工場】

事業者名・団体名

株式会社 協栄

提案課題3-1(1)別表 スポーツ振興事業の事業実施計画[平成33～34年度（2021～2022年度）]

(平成33～34年度各単年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	対象層	時期 回数	1事業当たり		収支計画					
				定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	その他※		
1	【カヌー体験教室】 目的：カヌー初心者に対する競技理解・普及 内容：ウォーミングアップコース及びフィニッシュプールを利用し、カヌー教室の実施。陸地にて事前説明を行い、艇やパドルの扱い方をお伝えし、静水からカヌーの体験を実施。上達者は競技コースへの技術認定を実施し、競技力向上を図る。	中学生以上の方の未経験者及び初心者	4月中旬～11月下旬 32回	448人		支出合計	講師費用	材料費	その他※		
			4月中旬～11月下旬 16回			収入合計	参加料	協賛金	その他※		
2	【親子カヌー体験教室】 目的：スポーツの振興と親子のコミュニケーション 内容：ウォーミングアップコース及びフィニッシュプールを利用し、2人乗りカヌーを親子で体験。陸地にて事前説明を行い、艇やパドルの扱い方をお伝えし、静水からカヌーの体験を実施。	小学2年生以上のお子様と保護者	4月中旬～11月下旬 16回	168組		支出合計	講師費用	材料費	その他※		
			4月中旬～11月下旬 16回			収入合計	参加料	協賛金	その他※		
3	【カヌースラローム体験教室】 目的：競技への興味・理解を深める 内容：ウォーミングアップコース及びフィニッシュプールを利用し、スラローム競技を体験。ゲートを設置し、ゲート通過へのコース取りや、通過方法を学習する。	小学2年生以上で競技に興味のある方	4月中旬～11月下旬 16回	224人		支出合計	講師費用	材料費	その他※		
			4月中旬～11月下旬 16回			収入合計	参加料	協賛金	その他※		
4	【カヌースラローム・テクニカル／トレーニング講習会】 目的：指導力の向上と競技者育成へ寄与 内容：トップアスリートと指導者を招聘し、指導技術やトレーニング方法を紹介する。また映像を見ながら指導ポイント解説や、グループワークで意見交換・知識共有を行う。	指導者	3月中旬～12月下旬 2回	42人		支出合計	講師費用	材料費	その他※		
			3月中旬～12月下旬 2回			収入合計	参加料	協賛金	その他※		
5	【障がい者カヌー教室】 目的：負荷の少ない競技でスポーツの楽しさを体験する 内容：静水エリアを利用し、カヌー体験を実施。陸地にて事前説明を行い、艇やパドルの扱い方をお伝えし、静水からカヌーの体験を実施。安定性の高い艇を使用し、安全性の高い教室の実施を行う。	身体障がい者手帳をお持ちで座位を保て、車いすに1人で乗れる方	5月中旬～10月中旬 2回	28人		支出合計	講師費用	材料費	その他※		
			5月中旬～10月中旬 2回			収入合計	参加料	協賛金	その他※		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● ※「その他」については、具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 「6 収支計画(1)及び(2)」の金額と一致すること。</li> </ul>				総合計	実施回数 68回	参加人数 1,078人	支出合計①				
							収入合計②				

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]**  
**1 事業の提供**

(2) 自主事業

**自主事業の実施方針および具体的な内容**

私たちは、国内唯一の人工コースとしての利点やアクセスの良さを生かし、水辺スポーツだけではなく、新しい水上レクリエーションの情報発信地としての役割を担っていきます。また、急流エリアを生かしたアクティビティの充実やウォーミングアップゾーンなどの静水エリアを生かした体験教室、親水エリアを利用したイベントの開催を充実することで都民をはじめ、県外や海外からのインバウンドを積極的に取り込むことを目指し、魅力的な自主事業を実施していきます。



- ① ラフティングツアーの充実と人材確保
- ② 多様な体験教室と新たなレクリエーションの創出
- ③ 水難訓練講習：急流人工コースの活用
- ④ 豊かな自然環境を生かした学習活動
- ⑤ 集客イベントの開催で再来意欲へ刺激



● ● ● ● ● **ラフティングツアーの充実と人材確保**

◆ ラフティング事業を自主事業の大きな柱として捉え、**多様なライフスタイルに応じたプログラム**を提供します。都心の施設である利点を最大限に生かすため、7月から9月の繁忙期は最大1日5セッションを企画します。また、予約状況に応じて1日あたりのセッション数を調整することで、効率的な事業実施を実現します。また、働く世代に向けて仕事終わりの「17時以降」にプログラムを企画し、仕事への活力を創出します。

ツアーリスト

9:30	受付開始
9:45	更衣室にて着替え
10:00	集合・説明
10:20	急流コースへGO！ツアースタート
11:30	ツアーエンド
11:40	更衣室にて着替え

**ラフティング事業の運用方法（例）**

利用形態	1セッション	1日回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時
繁忙期①		5セッション					①	②		③	④			⑤
繁忙期②	90分	3セッション					①	②			③			
閑散期		2セッション							①			②		

- ◆ ラフティングはチームで行うアクティビティです。クルー全員が協力し合うことで初めてボートがコントロールできます。新人研修や企業のチームビルディングとしての活用を促進します。
- ◆ 「**体験ギフトチケット**」を設けることで、大切な人・友達・家族に「非日常を体験してほしい」という思いを実現します。
- ◆ ラフティング事業を実施する上で重要なことは、**ガイドの確保**です。自社でガイドの取りまとめを担当する部門を設置し、ガイドの育成に努めます。また、ラフティングを専門とする団体と連携（ラフティング協会関心表明済み）することで、繁忙期や閑散期に応じたガイドの人材の要請を可能とすることで、ガイド数を確保し常に満足度の高いラフティングツアーを提供します。



事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]**  
**1 事業の提供**

● ● ● ● ● **多様な体験教室と新たなレクリエーションの創出**

**カヌー体験教室の開催**

私たちは、プールでのカヌー体験教室を実施した実績を有しています。また、当社に所属するカヌー・スラローム日本代表選手や、各競技団体と連携（東京都カヌー協会・青梅市カヌー協会関心表明取得済み）することで、トップ選手による体験教室を開催します。

**課外学習としての活用**

「SUP」や「2人乗りカヤック」、「カヌーポロ」などカヌー以外の体験教室を企画・実施することでさまざまなニーズに対応します。また小中学生などを対象とした体験教室を充実し「課外学習」としての活用を目指します。

**新たな水上レジャーの情報発信**

水上レクリエーションにはこれまでのアクティビティとは異なる側面を有しています。既存の水上レクリエーションに新たなアクティビティを創出し、新たな水上アクティビティの情報発信地としての役割を担います。

**リバースキューを専門とする団体と連携による安全確保**

リバースキューを専門とする団体と連携（RAJ関心表明済み）することで、安全面の確保を保持します。また、自社においても資格取得を行い、常駐スタッフは緊急事態に対応できるよう専門的知識を取得します。



カヌー体験



スラローム体験



パドルマシーン体験



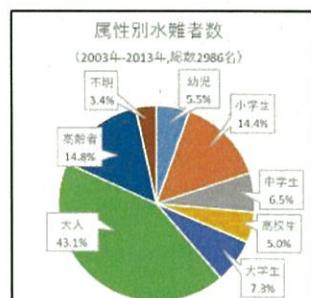
親子カヌー教室



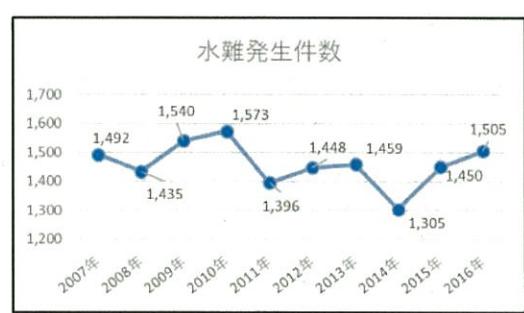
新アクティビティ

● ● ● ● ● **水難訓練講習会：国内唯一の急流人工コースを活用して、国民の安全を守る**

- ◆近年、自然志向・アウトドア志向が増え、河川でのキャンプ等の活動が人気となっている一方で、河川における水難事故が毎年発生しています。子どもから大人までを対象とした水難事故防止を目的とした講習会事業を実施します。
- ◆人工コースの利点である「水量の調整」、「障害物の設置」をコントロールすることで消防だけでなく、**民間救急救助サービスの水難救助トレーニング施設**を目指します。基本的な救助活動やロープやボートを使用した訓練講習を実施します。
- ◆リバースキューを専門とする団体と連携（RAJ 関心表明済み）することで、**専門家による水難訓練**に関する資格講習会を実施します。



出典：菅原一成（2015）過去 10 年間の水難事故の概要



出典：警視庁（2017）平成 29 年警察白書

事業者名・団体名

株式会社 協栄

提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
1 事業の提供

● ● ● ● ● 豊かな自然を生かした学習活動

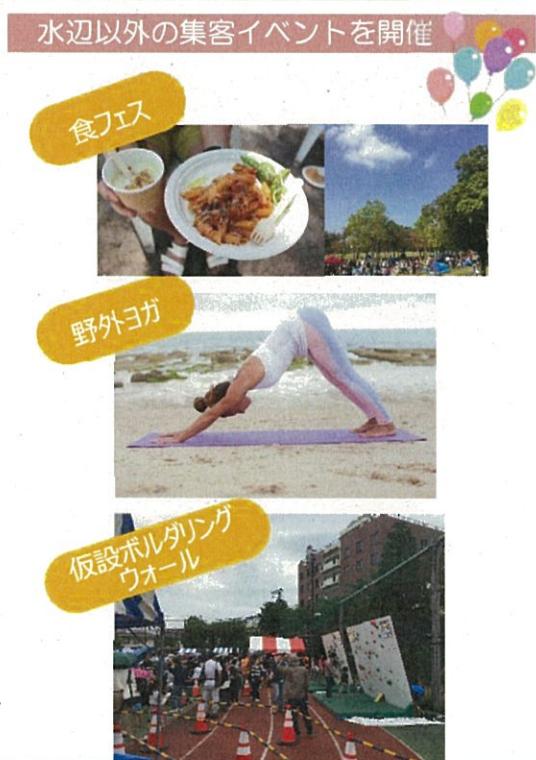
- ◆ 「自然活動」や「課外学習」は子どもの豊かな人間力を育むと考えられており、近年注目を集めています。本施設は、公園や海が隣接しており、都心では珍しい豊かな自然が広がっています。周辺環境と連携をし、**自然環境教育の場**としての役割を担います。
- ◆ 事業実施においては、川の指導者を育成する国の認定団体であり、楽しく安全に遊べる水辺の環境の創出へ向け活動をしている  
**に協力要請**  
し、さまざまな学習体験を提供します。
- ◆ 葛西臨海公園周辺は野鳥が観察できる人気のスポットです。現在は、周辺施設である葛西臨海公園鳥類園では「鳥類園ガイドツアー」を実施しています。既存のツアーと連携することで小学生、中学生を対象とした学習活動を企画・運営します。
- ◆ 水辺スポーツやレクリエーションを通して**安全な川遊びの方**法を学ぶ機会を創出します。具体的には、ライフジャケットの正しい装着方法や服装の選び方、危険に対する対処方法を学ぶことで水難事故防止に関する学習を施します。

● ● ● ● ● 集客イベントを企画・開催することで再来意欲へ刺激！

- ◆ 近年、野外イベントの人気は増加傾向にあります。既存の「食フェス」をはじめ、アウトドアの利点を活かした「野外ヨガ」や「ボルダリング」イベントを開催し、流行に敏感な世代をターゲットに来場者数の増加を目指します。集客イベントを通して、**本施設の魅力を発信**し、「次回はラフティングしたい！」、「カヌーを体験したい！」に繋げるイベントの運営を心がけます。
- ◆ 水上スポーツやレクリエーション以外のアクティビティも充実することで、様々な世代やニーズを取り込むことが可能となります。「だれも、気軽に、いつでも」訪問したいと思う場所を創出することで本施設の価値を高めていきます。
- ◆ 事業参加者に財源を募り、目標金額（人数）が達成した場合に実施するクラウドファンディング型事業を提案します。指定管理者自らが資金調達を行い、照明設備を設置して実施する「ナイトラフティング」やシアター設備を導入した「映画観賞会」、飲食事業と連携した「ビアガーデン・天体観測会」など、多様な方法で財源を確保し、利用者に対するサービスの充実を図ります。

事業者名・団体名

株式会社 協栄



提案課題3-1(2)別表 自主事業の事業実施計画[平成33～34年度（2021～2022年度）]

(平成33～34年度各単年度)

◆ 内 容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		収支計画					
			定員	参加料/人	支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
			観客数	入場料						
1	【ラフティングツアー】 目的:水上レジャー体験 対象者:中学生以上の方 内容:コース全体を利用しラフティングツアーや実施する。ガイドが一艇ごとに付き、説明・コース体験を含め約2時間のツアーを開催する。	通年	10,922人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		1,049回	-							
2	【ナイトラフティングツアー】 目的:ストレス発散、コミュニケーションの増進 対象者:働き世代 内容:夕方からの時間を利用し、仕事帰りの会社員を中心にラフティングツアーや実施。ストレス発散とコミュニケーションの場として利用。	4月上旬～ 10月下旬	1,911人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		60回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
3	【SUPヨガ体験教室】 目的:ストレス発散、リラックス効果、スポーツ実施率の増加 対象者:働き世代 内容:フィニッシュプールを利用し、水上でSUPに乗りながらヨガ体験。非日常空間で行うことで、心身のリラックス効果を実感。	4月中旬～ 9月下旬	551人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		49回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
4	【ヨガ教室】 目的:運動不足解消、スポーツ実施率の増加 対象者:働き世代・高齢者 内容:会議室やコース脇を利用し、初心者向けのヨガ体験教室を実施。雨天や冬期は室内で開催し、継続的に教室を行う。	通年	1,400人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		100回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
5	【レスキュー資格研修】 目的:河川の安全利用の普及・認知度の向上 対象者:資格取得に興味のある方 内容:河川専門のレスキュー資格発行団体と提携し、水難事故対策トレーニングと講習会、資格発行を行う。	3月上旬～ 6月下旬	168人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
		12回	-		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 練入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>										
		総合計	実施回数	参加人数	練入額①			収入総合計③		
			1,270回	14,952人	支出総合計②(①を含む。)			差引④(③-②)		

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務] 1 事業の提供

#### (3) 周辺連携事業

##### 周辺連携事業の実施方針

本施設は、葛西臨海公園や東京都葛西海浜公園などに隣接しており、自然豊かな環境が特徴の一つです。周辺施設の既存の施設の特徴に本施設の特性を加えることでぎわいを創出し、周辺施設一体での相乗効果を生み出します。



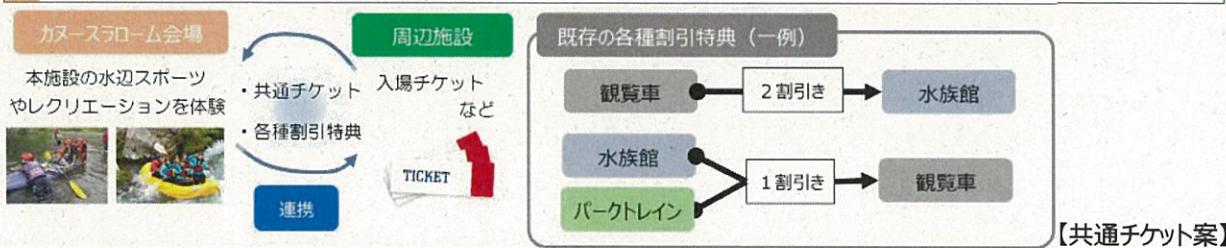
本施設と周辺を結び利用者循環を創出



(左写真 3枚出展：葛西臨海公園 HP)

##### 事業内容

<b>地域イベントの開催</b>	<b>収支計画が作成可能な事業</b>
江戸川区カヌー協会と連携したカヌーイベントを開催します。トップアスリートによるデモンストレーションや体験教室など、だれでも楽しめる内容で、施設のPR、水上スポーツへの動機づけとします。	
<b>近隣の小中学校と連携した水難事故防止講習会</b>	<b>収支計画が作成可能な事業</b>
海浜公園や河川、数多くの親水公園など、施設周辺は水資源が豊富な地域となっています。 に協力を要請し、子どもたちに講習会を開催して水辺の安全を呼びかけるとともに、水辺体験を通じて楽しさや <b>地域環境に対する興味</b> を高めます。	
<b>公園利用者を呼び込む水辺のレジャー</b>	<b>収支計画が作成可能な事業</b>
葛西臨海公園、葛西海浜公園の来園者と、本施設の架け橋となる事業として、「簡易ラフティング体験」や「ウォーターバルーン」を実施します。公園と本施設の一体化を図ることで年間300万人を超える公園来園者を本施設に呼び込みます。「パークトレイン」の本施設への延伸や、下記の共通チケットを検討するなど公園施設と連携をとりながら公園全体により賑わいを創出します。	
<b>共通チケットまたは各種割引特典</b>	<b>構想段階の事業</b>
周辺施設では、入場料等を徴収している施設やサービスが「葛西臨海水族館」、「ダイヤと花の大観覧車」、「パークトレイン」等に存在します。これらの施設では、各施設のチケット半券を用いた割引特典を付与しています。本施設で企画しているラフティングツアーや各体験教室などの事業のチケットも同様に <b>割引特典や共通チケットの発売</b> を準備することで周辺施設との連携を目指します。	
<b>ウォータースポーツエリア</b>	<b>構想段階の事業</b>
本施設の周辺は、海に面しており「東京都海浜公園」や「水上バス東京水辺ライン」の発着場、葛西臨海公園内の「芦ヶ池」が存在し、水辺に関わる関連施設が多いのが特徴のひとつです。それらの施設と連携して事業を計画することで、新たに葛西全体を都内で有数のウォータースポーツエリアとして創出します。これまで足を運んだことがない客層も多く取り込むことで、エリア全体の来場者数増加を実現します。	
<b>スタンプラリーイベント</b>	<b>構想段階の事業</b>
各ポイントを周り、スタンプを集める“ <b>スタンプラリー</b> ”イベントを開催します。各施設の前にスタンプ台を設置することで、各施設を巡る楽しみを創出します。また、ヒントを頼りにスタンプを設置している場所を探し当てるイベント等も企画することで、主に親子や家族連れをターゲットとした周辺施設全体でのぎわいを創出します。	



事業者名・団体名

株式会社 協栄

提案課題3-1(3)別表① 周辺連携事業（収支計画が作成可能な事業）[平成33～34年度（2021～2022年度）の事業実施計画]

(平成33～34年度各単年度)

◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容	時期回数	1事業当たり		収支計画						
			定員	参加料/人							
			観客数	入場料							
1	【トップアスリートふれあい体験】 目的：競技への興味や理解、また生活への変化に寄与・施設PR 対象者：東京都及び江戸川区小中学校 内容：江戸川区カヌー協会と連携、コースにてカヌー・スラローム競技のデモンストレーション見学、選手の経験談・カヌ一体験会など。	5月中旬 10月下旬 2回	60名		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			-		収入合計	参加料	入場料	その他※			
2	【水に学ぶ自然教室】 目的：課外授業として地域施設の積極的利用 対象者：東京都及び江戸川区小中学校 内容：学校の課外学習として、水難訓練体験。また葛西臨海公園・葛西海浜公園で水辺の生物の観察や、葛西臨海水族園で魚類の観察。	5月上旬 9月上旬 8回	720人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			-		収入合計	参加料	入場料	その他※			
3	【ドライ(濡れない)ラフティング体験】 目的：ラフティングツアーハー集客に繋げる 対象者：小学2年生以上の方(葛西臨海公園・葛西海浜公園来場者等) 内容：ウォーミングアップコースを利用し、水に濡れない簡易ラフティングを体験。	通年 288日	16,920人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			-		収入合計	参加料	入場料	その他※			
4	【ウォーターバルーン体験】 目的：小さいお子様に水辺の楽しみを知つてもらう 対象者：3歳以上の方(葛西臨海公園・葛西海浜公園来場者等) 内容：ウォーターバルーンに入り、水の上に浮いているような感覚で歩いたり走ったり、寝そべったりして楽しむ。	通年 288日	16,920人		支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			-		収入合計	参加料	入場料	その他※			
5					支出合計	講師費用	材料費	施設利用料金	その他※		
			34,620人		繰入額①		収入総合計③				
<b>総合計</b>			586回	参加人数		支出総合計②(①を含む。)		差引④(③-②)			

- 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。
- 「その他※」の具体的な内容を「事業名及び内容」に記述すること。
- 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。
- 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画」  
※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の  
収支の金額と一致すること。
- 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、  
「5 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。

提案課題3-1(3)別表② 周辺連携事業（構想段階の事業）の事業実施計画[平成33～34年度（2021～2022年度）] （平成33～34年度各単年度）

◆ 内容

NO	事業名及び内容	時期 回数	1事業当たり		
			定員	参加料/人	
			観客数	入場料	
1	【共通チケット・各種割引特典】 目的：エリア来場者の施設間利用率の向上 対象者：葛西臨海公園・葛西海浜公園利用者 内 容：「葛西臨海水族館」、「ダイヤと花の大観覧車」、「パークトレイン」等各施設のチケット半券を用いた割引特典を付与。ラフティングツアーや各体験教室などの事業チケットも割引特典や共通チケットの発売を準備する。	通年 288日	5,900人		
			-		
2	【カヤック・ラン・バイクレース】 目的：周辺施設と連携し、施設の同時利用 対象者：スポーツ愛好者 内 容：ラン（葛西臨海公園内）、バイク（葛西臨海公園内）、カヤック（ウォーミングアップコース・フィニッシュプール利用）の3つの種目を1つの競技として実施しレースを行う。	7月中旬 1回	30人		
			100人		
3	【スタンプフリーイベント】 目的：周辺施設全体でのにぎわいを創出 対象者：親子や家族連れを 内 容：各ポイントを周り、スタンプを集めることで“スタンプラリー”イベントを開催。各施設の前にスタンプ台を設置することで、各施設を巡る楽しみを創出。また、ヒントを頼りにスタンプを設置している場所を探し当てるイベント等も企画	5月上旬/8月上旬/ 10月下旬 3回	300人		
			-		
4	【オリンピック・パラリンピック会場視察ツアー】 目的：周辺地域から賑わいを創出 対象者：家族連れや修学旅行の学生 内 容：近隣のオリンピック・パラリンピック競技施設を大会開催前・後で見学するバスツアーを企画し、各競技施設を見学・体験しながらスポーツの知識・興味を増強させる。	4月～10月 12回	480人		
			-		
5	【激流婚活ラフティング（ディナー付き）】 目的：ラフティングを体験し、その後食事を公園内のホテルと提携することで地域連携を図る 対象者：働き世代 内 容：夕方の時間を利用し、男女の参加者を募りラフティングを体験。ラフトの組合せはくじ引き方式で行い、時間内に数回の組み換えを実施する。ラフティング体験後は、葛西臨海公園内のホテルにて食事を用意。	6月/9月 2回	40人		
			-		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内容については、目的・対象者・内容等具体的に記述すること。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに作成すること。</li> </ul>		総合計	実施回数	参加人数	
			306回	6,850人	

### 提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]

#### 1 事業の提供

##### (4) 利用者に対するサービス提供事業

## 利用者に対するサービス提供事業の実施方針

私たちは、国内唯一の人工急流コースとしての設置価値を最大化するためには、施設の利用者へだけでなく、周辺施設の利用者に向けてのサービスも重要であると考えています。利用者へのサービスを充実することで「再来意欲」を刺激し、施設全体の満足度を高めことで本施設の役割を担っていきます。



- ① 誰もが利用しやすい駐車場サービスの提供
- ② 飲食物の提供で「まだ居たい」と思える施設づくり
- ③ シャワー & ロッカーの提供でランニングステーションとして本施設を活用
- ④ 試し履き・足形測定会で快適なスポーツライフの提供



### 事業内容

#### 誰もが利用しやすい駐車場サービスの提供

- 身障者スペースを設け、誰もが来場できる“**開かれた施設**”を目指します。
- を設定することで連携体制を築いていきます。**大会開催時**などは、**柔軟に対応**します。
- 最寄り駅から徒歩で13分ほど（900m）の位置に存在し、団体ツアーなどでは、バスでの来場が予想されます。**バスでの来場は予約制**を設けることで、限られたスペースを有効利用することに努めます。



#### 飲食物の提供で「まだ居たい」と思える施設づくり

- キッチンカーなどによる飲食物の販売・提供を行い、大会開催時や仲間とレジャーを楽しんだ後「まだ居たい」と思える施設とします。（**関心表明取得済み**）
- 周辺施設の利用者も気軽に訪れることができるような環境を整えることで、周辺施設との一体感を生み出すことでぎわいを創出します。
- 食フェスなどの水辺以外の集客イベントを開催し、水辺スポーツやレクリエーションへの無関心層に対して本施設へ足を運んでもらう機会を積極的に創出します。



#### シャワー&ロッカーの提供でランニングステーションとして本施設を活用

- 本施設の利用者だけに留まらず、周辺施設の利用者であるランナーやサイクリストをターゲットとした「**ステーション**」としての役割を担うことで、多くの人が利用できる公平な施設を目指します。
- 類似施設を参考に、公共の施設として、都民が利用しやすい金額を設定します。
- 案内版を設置することで利用者の拡大を図ります。



案内版（例）

#### シューズ試し履き・足形測定会

- 専門企業に協力依頼（**関心表明取得済み**）し、**シューズの試し履き会**などを行います。スポーツ継続の動機づけを強くし、スポーツ実施率の向上に寄与します。
- することで、誰でも気軽に測定会に参加が可能です。
- 身体に影響を与える足の歪みや身体のバランス等を知ることで、より快適なスポーツライフに繋げます。
- 専門スタッフがデータを基に、最適なシューズを提案します。



事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題3-1(4)別表 利用者に対するサービス提供事業の事業実施計画[平成33～34年度（2021～2022年度）]

(平成33～34年度各単年度)

## ◆ 内容

単位：千円

NO	事業名及び内容 (目的、料金、提供方法、営業時間、運営体制等)	収支の積算根拠 (支出には、人件費及び消費税を含む。)	指定管理者の収支計画	
			支出	収入
1	【誰もが利用しやすい駐車場提供】 目的：利用しやすい駐車場により来場者の増加に繋げる 料金： 提供方法：障がい者スペースの設置、大会時の設定。バスの来場は予約制とし、安全に運用。	を		
2	【キッチンカー】 目的：大会観戦の楽しみ増強 営業時間：大会開催時間に合わせる 運営体制：と提携し、大会開催時にキッチンカーを設置。		支出	収入
3	【アウトドアレジャー×食フェス】 目的：アウトドアレジャーの楽しさ・美味しさに触れる 営業時間：10:00～20:00 提供方法：屋外レジャースポーツ(仮設ボルダリング等)の体験と、アウトドアフードの食フェスを開催。		支出	収入
4	【ランニングステーション】 目的：都民のスポーツ実施率向上 料金： 提供方法：ランナーやサイクリストに対し、シャワーとロッカーの貸出を行う。		支出	収入
5	【シューズ試し履き、足形測定】 目的：都民のスポーツ実施率向上 料金： 提供方法：の協力により足形測定やシューズの試し履きを実施		支出	収入
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者サービス事業の具体的な提案を記述してください。</li> <li>● 「収支計画」は、指定管理者の年間収支を記述してください。</li> <li>● 事業の内容が年度によって異なる場合は、年度ごとに記述してください。</li> <li>● 支出総合計②、収入総合計③及び差引④は、「6 収支計画 ※(参考)自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業の収支」の金額と一致すること。</li> <li>● 繰入額①は、委託料算出の際に収入に繰り入れる額を記載し、「6 収支計画(2)その他(G)」と金額が一致すること。</li> </ul>			繰入額①	収入合計③
			支出合計② (①を含む。)	差引④(③-②)

**提案課題 3 [スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務]  
2 施設の事業を支える仕組み**

**(1) 広報**

## 広報の実施方針

本施設は、東京 2020 大会会場として注目を集める施設であるとともに、大会後は日本唯一の人工カヌー・スラローム場として、さまざまな方々が多様な水上競技、レジャーを楽しめる施設となります。

この施設の魅力を、ターゲット別の多様な広報媒体を用いて戦略的に発信し、世代、性別、人種などさまざまな方々を網羅する広報を展開して本施設の事業を効果的・効率的に実施していきます。



- ① 施設プロモーションビデオを作成し広報媒体として活用
- ② 多様な広報媒体を用いた世代、人種など多層の利用者を網羅した広報
- ③ 旅行会社と連携し施設やエリア特性を活かした旅行商品を開発
- ④ 広報対象の把握と利用者の予約検討時期を捉えた効率的な広報活動



### 戦略的な広報活動

#### 広報対象の把握と利用者の予約検討時期を捉えた効率的な広報活動

- 利用ニーズや、旅行、観光のニーズなどを利用者アンケートや旅行会社から情報を積極的に収集します。また本施設の利用状況の集計などから居住エリアの分析などを進め、新規利用者とリピーターの獲得に有効な広報対象を定めます。
- 各利用形態の予約検討時期（詳細、課題 2-1 (1) 利用の調整に記載）に合わせたファムトリップや利用計画へのアドバイスなど、効果的な広報活動を行います。

#### 施設プロモーションビデオを作成し広報媒体として活用

- 引き渡し後、弊社に所属するカヌー・スラローム日本代表選手による競技コースデモ映像などを撮り、施設プロモーションビデオを作成します。
- プロモーションビデオは広報活動などで広く活用し、ホームページなどで日本初のカヌー・スラローム会場の魅力を世界に紹介、拡散します。

#### 旅行会社と連携し施設やエリア特性を活かした旅行商品を開発

- 本施設は観光のトレンドである体験型施設であり、旅行会社と連携（関心表明取得済み）し、この強みを活かす体験型・団体型広報誌を活用します。
- 臨海スポーツエリアや東京 2020 大会施設と連携したバスツアーの商品など旅行会社と検討開発します。葛西臨海公園内においては、広域的な観光案内拠点の公園サービスセンターと連携を取り、本施設内外の情報を取り入れ広報活動を行っていきます。



### 多様な広報媒体を用いた世代、人種などを網羅した多層への広報

- ◆ 広報の主対象を明確に多様な媒体を活用し、利用者層を網羅する効果的な広報活動を行います。

Web	見やすくわかりやすいホームページの開設と更新	対象：不特定多数
ホームページの開設にあたっては、言語、障がいの有無、年齢、性別等に関わらず提供する情報やサービスに問題なくアクセスでき、利用できるように「みんなの公共サイト運用ガイドライン」を参考に作成します。また英語ページを開設します。		
SNS	ホームページとの併用で多角的に情報発信	主対象：若年層・不特定多数
用途ごとの特性を活かし施設と来館者を繋ぐツールとして活用、ホームページの追加情報としてオンラインで掲載できます。		
地域プロモーション	目に見える地域振興の推進	主対象：都民・全国
旅行代理店と連動し、各取り組みを効果的に広報する手法を確立します。		
紙媒体	カヌー・スラローム要覧の発刊、パンフレット・チラシの作成・配布 新聞、旅行誌、情報誌への積極的掲載	主対象：周辺住民・高齢者 ：都民・全国
施設の顔となるパンフレットを独自に作成し、わかりやすく伝える工夫をします。パンフレットは4ヶ国語に対応し、スタンプ台帳としても利用できる機能的なものとします。 などの掲載、新聞、一般紙への掲載で漏れのない計画をします。		
東京都広報ツール	東京都広報ツールで都民へ向けた広報活動	主対象：都民
「広報東京都」への年間掲載スケジュールを計画し、認知度向上の取り組みとして定期的に掲載します。		
テレビ・ラジオ	テレビ・ラジオ放送等パブリシティの取り組み	主対象：都民・全国
情報を細やかに伝える地元ならではのテレビ局、ラジオ局を積極的に活用し、都民はもとより広い範囲へ向けた広報をします。ニュースリリースの作成、配布による情報の提供やパブリシティ担当者向け取材活動を行います。		

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 4 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

### 施設運営のための組織を構築する上での基本的な考え方

日本初の人工カヌー・スラローム場であり、様々な利用がなされる本施設の特殊性を理解しています。指定管理者事業部をはじめ、各専門部署による業務管理と、専門団体による確実なバックアップにより、安全で効果的かつ効率的な施設運営をします。また専門的な知識と技能を有する人材を適切に配置するとともに、東京都との連携を図ることで、円滑で確実な業務遂行を実現できる体制を構築し、安心で快適に利用できる施設を提供します。

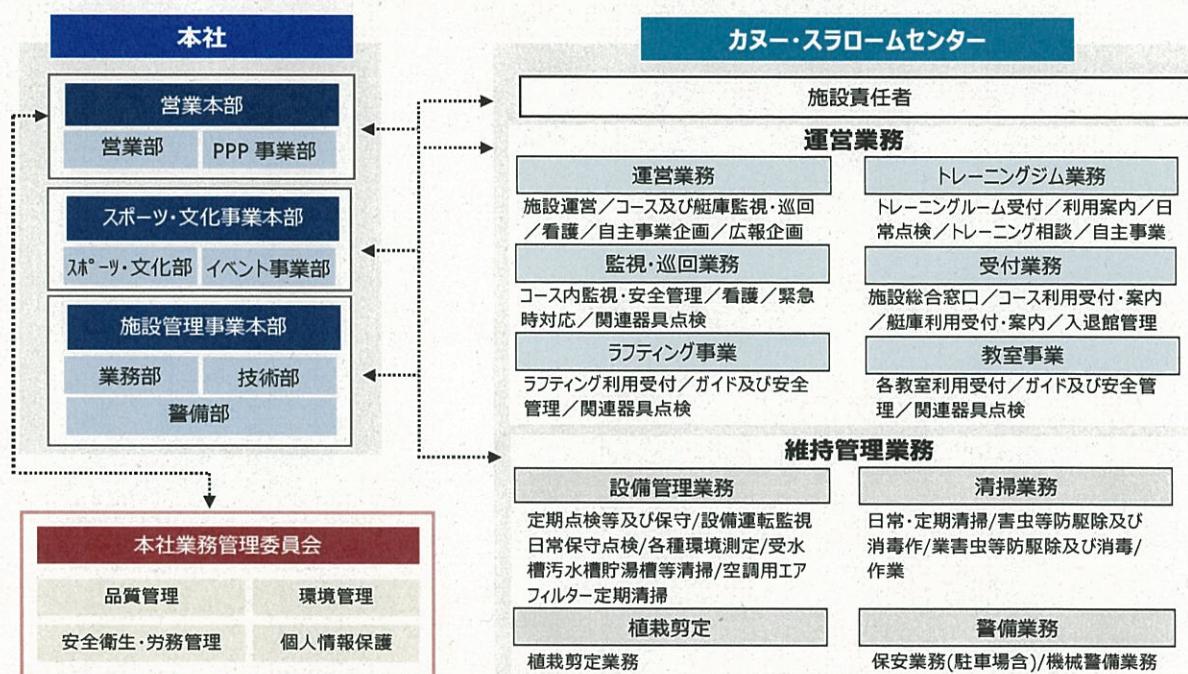


- ① 一社管理による効率的管理と経験を活かした柔軟に対応できる組織体制
- ② 本社及び近隣管理現場によるバックアップで業務を支援
- ③ 専門団体との連携で事業の専門性と確実性を確保



### 運営体制（組織図と業務分担）

施設責任者を中心に意思決定	主要業務を集中させることで兼務可能な組織体制を構築
専門性の高い人材を専門団体の協力により確保	本社バックアップによる安定的な運営



### 一社管理による効率的管理と経験を活かした柔軟に対応できる組織体制

#### 一社管理による兼務のできる柔軟な組織体制

一社で業務全体を管理することで、専門性の高い人材を雇用と業務間を超えた教育・研修をし、兼務のできる組織体制を構築します。施設の性質上、時間帯や時期により事業が大幅に異なるため、専門業務をこなすのではなく、複数の業務を兼務することで応援体制を築きます。

#### 公の施設運営を活かした体制

長年に亘り、公共プール施設の管理運営に携わっています。その経験を活かし、監視能力の高い人員の配置を行います。また既に現場で採用されている研修制度を当施設に合わせて導入することで、高い監視水準を保持する体制を構築します。

#### 外国人利用者を想定した人員体制

当施設は、国内の利用者のみならず海外からの利用者の問い合わせ、施設利用を想定します。特に選手層からの利用が多く見込まれます。そのため英語での受付・予約対応、利用相談、非常時対応が可能なスタッフを配置することで、外国人利者への対応可能な体制を構築します。

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 4 [組織及び人材] 1 効果的かつ効率的な組織体制の確保

### ● ● ● ● ● 本社及び近隣管理現場によるバックアップで業務を支援

#### 現場の業務負荷の削減

- ◆ 現場業務に集中できるよう、本社部門が現場業務の支援・指導・監督を行います。研修教育や人事労務管理のみでなく、広報や自主事業企画などを後方支援しサービス向上に繋げます。

##### [本社担当部の専門的サポート]

業務指導	選任された担当者が定期的に巡回を行い業務に関するサポート。各業務品質管理チェック、改善、指導の他に資機材の選定、委託業者の選定を現場と連携して実施
人事・雇用	人事の評価や欠員者の補充、募集体制など勤怠管理を実施
研修・教育	事前研修や年間研修、技能資格や講習会参加の手続きなど専門知識向上のサポート
安全衛生	労働安全対策チェック、指導、健康診断の受診促進など職場環境や労働環境の向上
事務管理	利用料金や自主事業などの収入管理や支出管理などをサポート
広 報	自主事業の案内やホームページの更新、印刷物の製本などを現場の担当者と共に実施
法令遵守	法律、条例や個人情報保護規定、労務規定などの法令遵守の教育や監査を実施
安全管理	施設の安全確認、従事者への防火、防災活動の指導、自主訓練を実施
人的サポート	急な欠員や現場責任者・スタッフの人的サポート体制を充実し支援

#### 近隣管理現場からのネットワーク支援

- ◆ 急な欠員が発生した場合、本社含め周辺現場から人的な支援をし、業務への支障を最小限に抑えます。30分圏内に現場が複数存在し、**近隣現場と連携**し緊急時に備えます。

#### 業務品質の継続的な改善

- ◆ 本社で組織する業務管理委員会により定期的な自主検査を実施し、業務品質の維持、向上に努めます。

評価担当	評価内容	頻 度
各業務担当者	各業務の仕上り具合、作業状況、作業環境チェック	1回/2か月
本社業務管理委員会	運営会議 業務品質、環境管理、安全衛生・労務、個人情報	1回/2か月 2回/年
安全衛生・労務委員会	安全衛生パトロール	1回/年
社内規格内部監査員	各規格内部監査 (ISO9001・14001・プライバシーマーク)	1回/年
規格認証認定団体	各規格外部監査 (ISO9001・14001・プライバシーマーク)	1回/年

### ● ● ● ● ● 専門団体との連携で事業の専門性と確実性を確保

- ◆ 各専門団体より関心表明をいただいております。専門団体のバックアップ体制により施設を安全に運営し、そして質の高いサービスを提供します。

#### 東京都カヌー協会

#### 大会誘致と選手の競技力向上をサポート

協会からのバックアップ体制を敷くことで、国内外の様々なカヌー大会の誘致を目指します。また強化練習会や競技力向上の事業を積極的に実施することで、選手の技術力向上に繋げます。

#### 江戸川区カヌー協会

#### カヌーイベント・地域活動をサポート

協会と連携し、江戸川区を中心としたカヌーイベントの実施することで、地域のスポーツ振興に寄与します。またカヌーの裾野を広げ、地域のカヌー愛好者、ジュニア選手の育成を積極的に行います。

#### NPO 法人青梅市カヌー協会

#### カヌー専門人材・教育をサポート

協会より施設スタッフを採用し、主に監視・巡回業務、また自主事業で行うカヌー教室業務に起用します。人口カヌー・スラローム施設では、河川での訓練や経験に長けている人材の確保が必要不可欠です。競技に関する専門性の高いスタッフを雇用することで、施設の効率的な運営体制の強化を図ります。

#### 一般社団法人ラフティング協会

#### ラフティング専門人材・技術をサポート

協会から専門技術を有するスタッフを採用することで、施設の能力を最大限に活かし、高いガイド技術を提供します。また安全を第一と捉え、高いガイド技術の提供、円滑な業務遂行を実現する体制を構築します。RAJ が発行している国内唯一のラフティング資格「リバーガイド」の取得を活発に行い、技術力向上のための研修を実施します。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

提案課題4-1 効果的かつ効率的な組織体制の確保 別表

◆各部門の所要人員

	役 職	担当業務内容 (具体的に記入してください。)	能力・資格 実務経験年数等	雇用形態			1週間の 勤務時間	備 考
				常勤	非常勤	委託		
施設配置人員	施設長							
	副施設長							
	副施設長							
	運営業務担当責任者							
	運営業務要員							
	監視・巡回業務担当							
	監視・巡回業務要員							
	受付業務担当							
	受付業務要員							
	トレーニングルーム 運営業務担当							
	トレーニングルーム 運営要員							
	維持管理業務責任者							
	設備管理業務要員							
	清掃業務要員							
	ラフティング 案内業務担当							
	ラフティング 案内業務要員							
	ラフティング 案内業務要員							
業務委託	教室事業要員							
	教室事業要員							
	教室事業要員							

●記入上の注意

- 1 職員一人ごとに記入してください。
- 2 「役職」については、体育施設を管理運営する上で必要と思われる役職(館長、警備員等)を記入してください。
- 3 「能力・資格・実務経験年数等」は、実際に配置する予定職員を想定の上、記入してください。
- 4 「雇用形態」については、該当に○を記入してください。
- 5 貴団体の本社等に本施設の管理にかかる人員を配置する場合は、「施設配置人員」欄の下部を利用して記入してください。
- 6 「業務委託」欄には、警備・受付等の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる場合に記入してください。

## 提案課題 4【組織及び人材】2 明確な責任体制の構築

### 明確な責任体制についての基本的な考え方

業務全体を統括する施設責任者と、要所に各業務責任者を選任し、指揮命令系統と責任の所在を明確化します。一社管理で業務を管理し、業務に対する考え方や意思の疎通を容易にすることで、施設責任者を中心とした情報の共有と、施設全体の連携体制を構築して、施設が一体となって運営をします。



- ① 公の施設運営に適した責任者 ③ 施設責任者を中心とした明確な指揮連絡体制
- ② 明確な責任者・担当者の役割

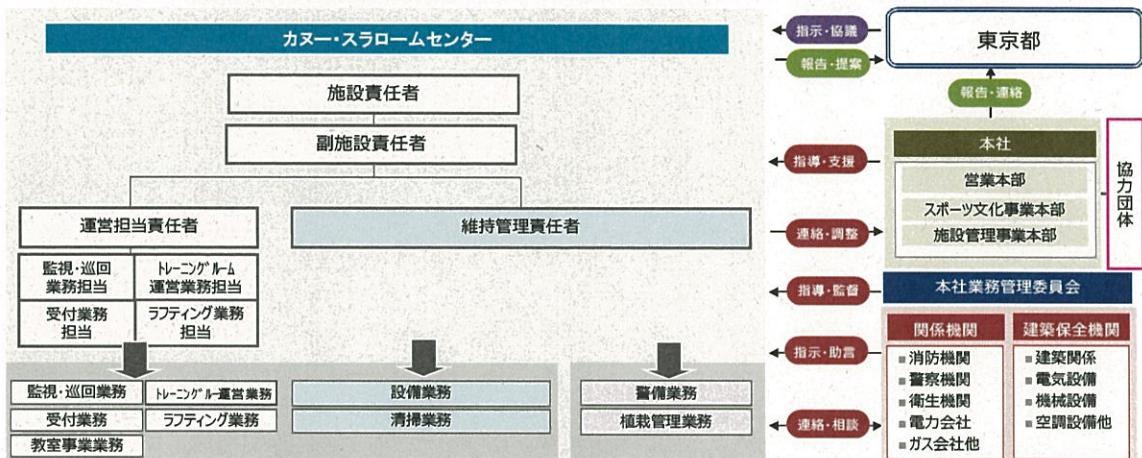


#### 公の施設運営に適した責任者

- ◆ スポーツ施設の管理資格を有し、他の公共施設において責任者を務めた実績のある者を施設責任者として選任し、施設の運営状態、スタッフの勤務状況を常に把握して、各業務を指揮監督します。日頃から各所とコミュニケーションをとり緊密な関係を構築した上で、利用者や関係団体、東京都、本社のすべてのパイプ役、窓口となり業務を円滑に機能させます。

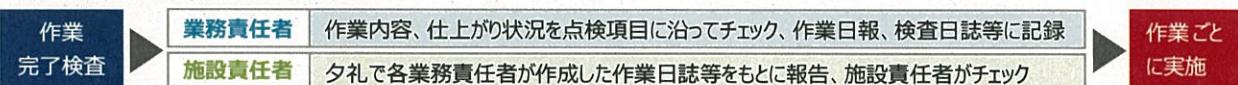


#### 施設責任者を中心とした明確な指揮連絡体制



#### 業務実施の意思決定

- ◆ 本社から本施設担当責任者を選任し、施設責任者とともに東京都の連絡窓口となります。施設担当責任者と施設責任者は **2カ月に1回**、定例の打ち合わせを実施し、モニタリング、採用・研修、クレーム処理など業務重要事項を協議して業務に反映します。
- ◆ 施設責任者及び施設担当責任者は定期的に東京都と業務打合せを行い、施設責任者は各業務責任者に内容を伝達し、毎朝各業務朝礼・夕礼でスタッフ全員に徹底することで情報の共有化と意思の疎通を保ちます。朝礼夕礼の内容は、休みの者にももれなく伝達できるよう、**引継ぎノート等**を使用し、スタッフ全員に回覧する方法で徹底を図ります。



#### 明確な責任者・担当者の役割

責任者／業務担当	主な業務内容
施設責任者	施設の統括責任者／東京都・関係各所との報告、調整
副施設責任者	施設の副責任者／各担当責任者との調整
運営担当責任者	各担当との情報共有、調整／上位責任者への報告／スタッフ管理
維持管理責任者	設備管理業務運営／清掃業務運営／設備・清掃スタッフ管理
監視・巡回担当	監視業務運営／監視・巡回スタッフ管理
トレーニングルーム運営業務担当	トレーニングルーム内運営／受付管理／トレーニングルームスタッフ管理
ラフティング業務担当	ラフティング業務運営／ラフティングスタッフ管理
受付業務担当	受付業務運営／受付スタッフ管理

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 4 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

### 基本的な考え方

本施設は急流を有する人工カヌー・スラローム場であり、複合用途で利用されるという特殊性があることを認識し、専門知識と技術を有するスタッフの適切な配置と、一社管理のメリットを活かした業務間連携で、運営に沿った効率的な配置をする運営体制を構築します。また適切な勤務体制と労働環境を整えることで、専門性の高いスタッフの継続的な確保に努め、指定期間に亘り、安定的に施設の安全性と快適性を提供します。



- ① 多様な利用ニーズに対応できるスタッフ雇用の推進・体制づくり
- ② 働きやすい職場環境を整備し人財を継続的に確保
- ③ 施設の利用や時期に応じた適切で効率的な勤務体制

#### ● ● ● ● ● 多様な利用ニーズに対応できるスタッフ雇用の推進・体制づくり

##### さまざまな勤務形態を可能とするローテーション管理

長年の施設管理経験の中で確立している、短時間勤務や出勤日の選択など、多様な働き方を可能とする勤務ローテーション管理の手法を用いて、多くの有能な人財の確保に努めます。その上で、男性や女性、若い労働力と確かな技術や知識を持った高齢者をバランスよく配置し、さまざまな事態に柔軟に対応できる体制を構築します。

##### デュアルキャリアやセカンドキャリアを支援し専門性の高い人財の確保

ほぼ1年を通して営業する人工カヌー・スラローム施設の特性を活かし、関係団体とさまざまな事業を連携することで、現役の選手や選手のセカンドキャリア支援、各水上競技、レジャーの愛好家の雇用機会創出を目指します。それにより高い専門性を有するスタッフを配置し、高品質なサービスを利用者へ提供します。

##### 繁忙期の若者雇用促進

本施設の繁忙期となる時期と学生の休日期間が重なることから、学生アルバイトの積極的な雇用を行います。ウォーターパルーンの対応補助などの簡単な業務から、オリンピック競技施設での勤務経験や、トップ競技者の練習を間近に触れながら勤務することで、若者の成長を施設の成長に繋げます。

#### ● ● ● ● ● 働きやすい職場環境を整備し人財を継続的に確保

◆当社は雇用条件や労働時間、賃金支払いや保険加入などの労働条件を保証しており、労働に関する各種法令を遵守して、適正な労務管理を実施します。加えて、ライフワークバランスを確立する取り組みで、継続して就労できる環境を会社全体で整備しています。

##### 有給取得の確保

パートタイマーを含めて有給休暇の取得を義務付けています。本施設においては業務が安定化する冬期に長期休暇の取得を推奨し、有給取得率向上に努めます。

##### 女性の活躍推進

短時間勤務などさまざまな勤務形態を可能とするローテーション管理を導入し、女性も継続して働くよう仕事と家庭のバランスを保てるよう配慮しています。家族の介護や出産など、突発的事案にも対応する仕組みとして、育児出産・介護休業の規則を設けて運用しています。

##### メンタルヘルスへの配慮

従業員が心身ともに健康を保ちハツラツと業務に取り組むために、健康診断の受診のほか、年1回のメンタルヘルスケアをサポートする「ストレスチェック」を実施しており、心身の健康に配慮します。

#### 従業員の労務管理

月	実施項目	実施内容	実施者
4月	配置転換・賃金改定	聞き取り内容や申し出、適正審査に応じ配置転換能力に応じた賃金改定	本社
6月	ヒアリング	業務への取り組み状況や習熟状況、適正について	責任者
10月	最低賃金の確認	最低賃金の改定に伴う全従業員の賃金を確認	本社
2月	ヒアリング	次年度に向け配置転換の申し出、業務適性確認	本社・責任者
毎月	労務管理・安全衛生委員会	本社で各事業所の取り組みや事例など共有	責任者

事業者名・団体名

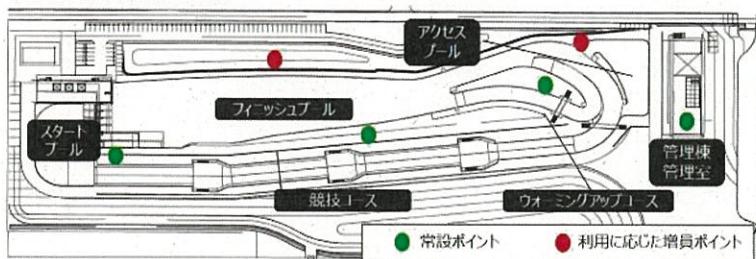
株式会社 協栄

## 提案課題 4 [組織及び人材] 3 適切な勤務体制等

### ● ● ● ● ● 使用用途・時期に応じた勤務体制

◆ 円滑な業務を行うために、通常期、冬期、大会開催時に分け最適な人員体制を設定します。また**業務兼務化**により他業務を把握したスタッフを増やすことで、繁忙期や緊急時にも柔軟に対応します。

【コース内スタッフ配置図】



ポスト	人数	役割等
管理室	1名	カメラによる全体監視指示、ポンプ停止
競技コース	1名	スタートプールでビブス等確認、コンベヤー停止
ウォーミングアッププール	1名	アクセスプール不在時はアクセスプール含
フィニッシュプール	1~2名	利用状況により増員
アクセスプール	0~1名	利用始・終了時に受付員で技能確認など

## 提案課題 4 [組織及び人材] 4 人材育成の取組

### 人材育成についての基本的な考え方

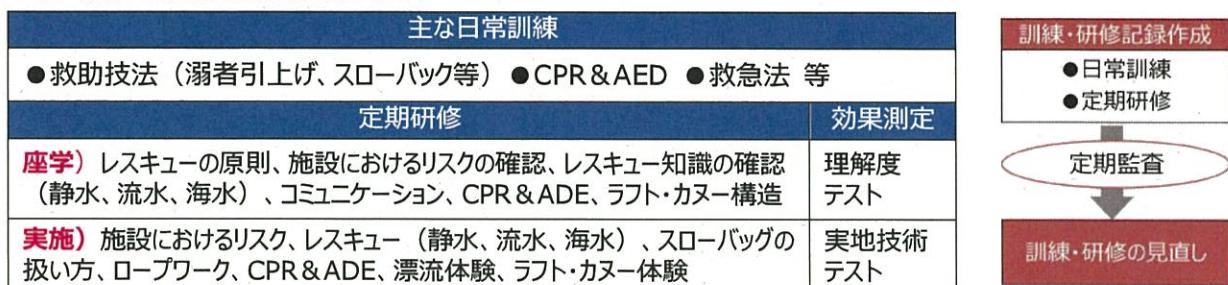
人材育成は施設の円滑で安全な運営を担保する上で、業務の基本と捉えております。東京2020大会をはじめ、様々な来場者を想定し、高品質なサービスを指定期間初日から提供できるよう教育プログラムを確立し、確実に実施します。また施設の最大の特徴である河川に特化した安全教育を徹底し、利用者の安全安心を確保します。



- ① 河川に特化した研修の実施
- ② 習熟度・定期教育プログラムの実施
- ③ 指定期間前より体制づくりの開始

#### ● ● ● ● ● 河川に特化した日常訓練・研修の実施

◆スタッフには訓練・研修を義務付け、河川に特化したカリキュラムを組んで教育を日々実施し、訓練記録を整備します。また RAJ（日本ラフティング協会）に安全のための定期的な監査を受けます。監査結果を基に訓練・研修の継続的改善を行います。



#### ● ● ● ● ● 習熟度・定期教育プログラムの実施

◆スタッフの業務習熟度に合わせた段階的、定期的な教育プログラムを実施します。

プログラム	対象者	目的	項目	内容	頻度	
1 	新規配属者	就業にあたり施設の特徴及び業務の内容を理解するための基礎教育プログラムです。	新入社員研修	施設の概要・施設の特徴と利用案内、競技理解	入社時	
			マナー研修	接客・接遇マナー、障がい者利用への対応等		
			救急救命研修	AED・CPR 基礎、心肺蘇生法、緊急時対応		
			情報保護研修	個人情報保護（プライバシーマークに基づく）		
2 	全員	定期的に各研修を実施し、職員の能力向上を図るプログラムです。フォローアップを実施することで、施設全体の士気を高めます。	マナー研修	接遇マナー、ダイバーシティへの対応、障がい者利用	年2回	
			法令遵守研修	個人情報、労務管理、ハラスメント	年1回	
	業務別対象者		競技体験研修	カヌー、ラフティング体験	適宜	
			救助研修	救助訓練、AED・CPR、	月1回	
			語学研修	外国語対応、機器を用いた対応	適宜	
3 	責任者候補	責任者育成プログラムです。習熟したスタッフが、責任者として勤務するための研修を実施します。	クロス研修	各業務間をクロスし各業務の理解	適宜	
			指定管理者制度研修	制度の理解、情報公開の理解、連携体制の理解		
			リーダーシップ研修	役割理解、コミュニケーションスキル・調整力開発		
			ハラスメント研修	ハラスメントの理解、未然防止方策、発生後の対応		
4 	業務別スキル向上の見込める者	業務に特化した研修の実施で業務水準の向上を目指すプログラムです。資格の取得奨励や外部講習会への積極的な参加を促します。	レスキュースキル研修	公認カヌー指導員、水上安全法指導員、救急法救助員、A級ライフガード、障がい者スポーツ指導員等	適宜	
			ガイドスキル研修	公認カヌー指導員資格、リバーガイド資格 等		
			フロントスキル研修	他施設研修、語学研修、ホスピタリティマインド研修		
			設備清掃スキル研修	ビルクリーニング技能士、清掃作業従事者研修		

#### ● ● ● ● ● 指定期間前より体制づくりの開始

◆指定期間2か月前より研修を行い体制づくりの強化をします。RAJに協力要請し河川などで事前研修を重ね、初日から利用者に快適な施設を提供します。また通年でプログラムを実施、スタッフのスキルアップを促します。

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### (1) 施設、附属設備及び物品の維持管理

##### 維持管理実施方針

オリンピックをはじめとする各種大会の会場や、都民・国民の貴重なスポーツ・レジャー施設であることを十分に認識し、機器に適した最善の管理方法でいつも安全に利用できる施設を提供します。



- ① 効率的な運営を実現する年間作業計画の策定
- ② 施設の特徴を理解した維持管理

##### ● ● ● ● ● 維持管理実施体制

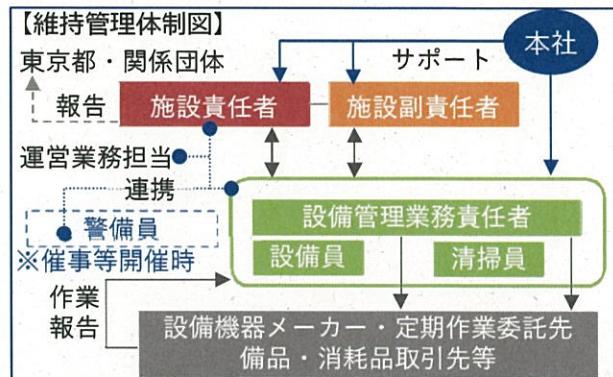
- ◆ 施設管理経験者を施設等管理責任者に任命し、「維持保全業務標準仕様書」に準拠した上で施設や各設備機器を確実に管理します。

##### 維持管理体制図

- ◆ 人工のカヌー・スラロームコースは、国内で初めて設置される施設です。責任区分を明確にした維持管理体制の構築に加え、機器メーカーとの連携を強化する事でより確実で万全な体制を作ります。

##### 年間作業計画

- ◆ 定期作業は、利用頻度が高いシーズンや大会開催を避け、年間利用計画と併せて調整します。



##### 【年間作業計画例（設備）】

###### 管理棟

業務内容	委託先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
建築設備検査											○			
特殊建築物調査											○			1回／2年
エレベーター		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
自動扉		○		○				○			○			
シャッター								○						
空調設備			○		○			○			○			
換気設備		○							○					
ガス湯沸器											○			
貯湯式電気温水器											○			
排水水中ポンプ														適時実施
消防設備		○							○					
非常放送設備		○						○						
監視カメラ設備				○						○				
電話交換機設備											○			
音声誘導ガイド											○			
空気環境測定		○		○		○		○		○		○		
害虫駆除				○							○			
湧水槽清掃											適時			自主清掃

###### ろ過施設

業務内容	委託先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
シャッター								○						
換気設備			○						○					
排水槽設備							○							自主清掃
受水槽設備			○		○		○		○		○			

###### 屋外施設

業務内容	委託先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
受変電設備		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎年次点検

###### 競技設備

業務内容	委託先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
自動制御装置											○			
ポートコンペア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
揚水ポンプ											○			
起流ポンプ											○			

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務]

### 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

#### 【年間作業計画例（清掃）】

##### 清掃作業

業務内容	委託先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
共用部分床清掃		○			○		○			○				
各室床清掃		○				○			○					
施設外周			○				○			○				
ガラス清掃				○			○				○			
照明器具清掃				○				○						

#### 委託を行う際の注意点

- ◆ 委託による点検業務等は、従事者立ち会いを徹底
- ◆ 法令の遵守義務がある点検は、利用予定と調整し確實に実施
- ◆ 従事者も作業内容を理解し、施設や機器の状態を把握
- ◆ 突発的な不具合にも対応できるよう委託先と連携体制を構築
- ◆ 作業完了報告書は、提出を義務付け内容を必ず確認
- ◆ ISO の取引先選定基準（右）に基づき、信頼できる委託先を選定

#### 【取引先選定基準に基づく評価表】

取引先評価基準（サービス）	取引先評価基準（サービス）														
	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
<b>取引先評価基準（サービス）</b>															
1. 信頼性の高い上級（△～○・○～△・△～○）	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 計算された結果への信頼性（△～○）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 信頼性の高い（△～○）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. ISO9001の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. ISO14001の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6. 人材・機器に対する信頼性（△～○）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 信頼性の高い（△～○）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
評価結果	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価
1. 信頼性の高い（△～○）	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
評価結果	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価
評価結果	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価

#### ● ● ● ● ● 特筆すべき機器管理（水中ポンプ）

- ◆ 本施設のコア設備となる起流ポンプ、揚水ポンプは、水中に設置されるため適切な管理を怠る事で、感電事故のような利用者を巻き込む大事故に発展する恐れがあります。漏電事故対策として、電気工事が定期的に取り組み（詳細、提案課題 5-2 その他管理運営に関する事項に記載）、機器を安全に運転するよう心掛けます。

#### ● ● ● ● ● 物品の維持管理実施体制

- ◆ 物品管理責任者を配置し、「物品管理者別物品管理一覧表」に基づき適正に管理します。消耗品を含め、運営に支障をきたす事がないよう、美観や性能などの状態確認を徹底します。

#### 物品の管理方法

- ◆ 「物品管理者別物品管理一覧表」の記録に加え、ラベルや画像データを活用し所有者を明確にします。購入や引き継いだ物品を画像で取り込み、所有者や導入時期、保管場所などを記入したデータを記録として残します。東京都や次期管理者へ引き継ぐ場合は、実物と画像を照合する事で確認する事ができます。指定管理者が所有する物品には、日付を記入したラベルを貼付して区別します。

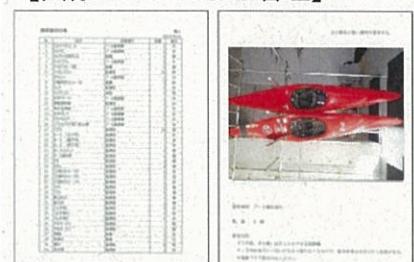
#### 消耗品の管理

- ◆ 施設を運営する上で、欠かす事ができない消耗品は残量を記録できる台帳を用いて管理します。消耗品は、物品管理責任者の承認に基づき余裕を持って補充し、その都度台帳を更新します。

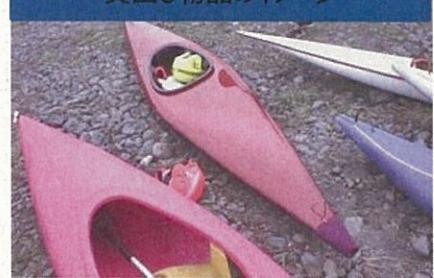
#### 利用者貸出物品の管理

- ◆ 利用者に貸し出す物品は、指定管理者のラベルを貼付し利用者の所有品との区別や持ち出しに気を付けて管理します。貸出しの前後には、破損や性能を確認し、チェックリストに状態を記録します。
- ◆ 利用者が着用するウェットスーツや水着、ヘルメット等の備品は、使用後に洗濯し乾燥と除菌処理を施すことで衛生的に管理します。夏期間の利用者を想定し、貸出し備品が足りなくなることが無いように備えます。

#### 【画像データによる管理】



#### 貸出し物品のイメージ



事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 1 施設、附属設備及び物品の維持管理

### (2) 施設の修繕

#### 施設の修繕実施方針

施設管理経験から学んだ修繕作業技術を活かし、施設・設備の機能を正常に保ちます。

故障の未然防止を目的とした修繕作業の日常化に取り組み、施設を常に万全なコンディションで管理します。大規模な修繕工事は、施設運営に支障が出ないよう計画的に実施します。

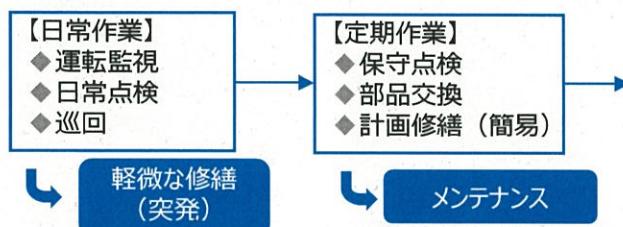


- ① 軽微な修繕は、その場で作業を実施する迅速な対応
- ② 施設の管理経験から習得した修繕技術の活用による LCC の縮減
- ③ 大規模修繕の計画的な実施による施設の長寿命化と安全の提供
- ④ 突発的大規模修繕に対する迅速かつ柔軟な対応

#### 修繕実施体制

- ◆ 機器の故障や不具合など、イレギュラーな事態が発生した場合は、施設等管理責任者を中心に修繕等の対応にあたります。運営に影響を及ぼす事態を避けるため日常的な設備管理に重点を置き、**設備の長寿命化**ならびに維持管理コストの縮減を図ります。
- ◆ 大会の開催中や施設利用中の不具合を避けるため、機器の状態はチェックリストを用いた日常点検の実施により管理します。また、軽微な不具合は、**施設従事者が修繕を実施**し故障につながる不具合の重大化を未然に防ぎます。日常的な機器の管理に加え、コースや貸出し備品の軽微な破損など自社で処理出来るメンテナンスは自社で行い、少ない費用で高い効果が得られるような管理を心がけます。施設の立地環境から機器への**塩害**等の被害が考えられるため、**定期的に洗浄**作業を行います。
- ◆ 発生した修繕作業は、履歴をデータ化し日常の維持管理業務や修繕計画に反映することで、業務ノウハウの蓄積や業務の改善の材料として活用します。

#### 【修繕実施体制】



##### その場で対応

- ◆ ドアの不具合
- ◆ 手摺のぐらつき
- ◆ 簡易な水漏れ
- ◆ 電球交換

##### 状態を見て計画的に実施

- ◆ 機器の長寿命化
- ◆ 性能アップ
- ◆ 安全性向上

##### 【主な作業内容（例）】

ポンプの洗浄、路面補装（状態による）、コース壁面の補修塗装、貸出し備品のリペア、真水での洗浄など



#### 【計画修繕（大規模）】

- ◆ 長中期修繕計画に基づく機器更新
- ◆ 耐用年数を基本に機器入れ替え

#### 【長中期修繕計画（作成例）】

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
機器名												
修理箇所												
修理内容												
修理日付												
修理費用												
修理担当者												
修理状況												
修理結果												
修理報告書												

#### 【突発的修繕（大規模）】

費用見積もり  
(実施時期等は、協議事項)

250万円超  
東京都

250万円以下  
指定管理者

※要調整 予算執行までの一時立替えなど

報告書作成・履歴の記録  
マニュアル更新

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 2 その他管理運営に関する事項

### (1) 危機管理及び災害対応

#### 安全な施設の実現に向けた対応策の徹底

あらゆる危機を想定し、いかなる事態にも適切に対応できる安全な施設を実現します。



- ① 周辺環境を含む危機的な事態を想定した対応策で被害を最小化
- ② 被害最小化の実現に向けた人的対応力の強化
- ③ 施設の特徴を理解し事故の未然防止で安全な施設を提供

#### 危機の想定と対応策

◆考えられる危機を一覧にまとめ、それぞれに対応策を講じます。

	予防対策 (リスクの回避・低減・分散)	発生時措置 (最小化・二次災害防止・早期復旧)	クライスマネジメント
<b>1 防災管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地震 ◆台風</li> <li>◆落雷 ◆大雨</li> <li>◆大雪 ◆水害</li> <li>◆強風 ◆高波</li> <li>◆液状化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①マニュアルの作成、定期改訂</li> <li>②緊急体制構築、事前確認</li> <li>③天候の予測による作業実施</li> <li>④消防計画作成・訓練実施・計画、マニュアルの見直し・改訂</li> <li>⑤都の地域防災計画の把握、関係機関・地域との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①避難誘導・初期消火・通報</li> <li>②施設や地域の被害状況把握</li> <li>③施設安全確認、復旧作業、関係機関、本社に状況報告(避難所対応)</li> <li>④都の地域防災計画に則り、災害拠点機能の確保、関係機関に協力要請</li> <li>⑤災害用備蓄品(仮)、倉庫搬出準備</li> </ul>
<b>予測できる災害</b>		台風や大雪など、予測ができる災害に対しては、都の防災計画に基づき、担当課と協議の上、「タイムライン防災」体制を確立します。 降水量・台風予想進路などの情報を集め、予め時系列の水害・強風対策内容を定めます。対策内容は、場内掲示で利用者への事前周知を図ります。	
<b>一時滞在施設としての対策</b>		平常時から災害時に支障なく、その機能を果たすことが出来る体制を作り、定期的に確認を実施します。	
<b>2 事故管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆停電 ◆断水</li> <li>◆漏水 ◆ガス漏</li> <li>◆火災 ◆倒壊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の熟知、ハザードマップ活用</li> <li>②催事開催日の出勤シフトの調整</li> <li>③中長期保全計画・予防保全の実施</li> <li>④日常巡回時・点検等維持管理徹底</li> <li>①平常時から関係機関と連携</li> <li>②マニュアル作成、改訂、訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①停電時は、放送を予備線に切替え、自家発電機の稼動、電力会社へ通報</li> <li>②安全確認後、復旧作業、業務再開、滞在者の安全確認、状況報告</li> <li>利用者誘導、関係機関へ通報、初期消火、救護、安全確認、施設状況報告</li> </ul>
<b>3 感染症管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インフルエンザ</li> <li>◆ノロウィルス</li> <li>◆デング熱 ◆レジオネラ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①おう吐物・排泄物の処理手順作成</li> <li>②レジオネラ対策の実施</li> <li>③マニュアル作成、改訂、訓練実施</li> <li>④消毒剤の設置、手すりの消毒等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新型インフルエンザ等、国内発生段階でマスクの着用、消毒使用の呼びかけ</li> <li>②デング熱等発生時防虫作業強化</li> <li>③都・保健所などと協力し対応</li> </ul>
<b>4 防犯管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆犯罪 ◆不審者</li> <li>◆テロ ◆不審物</li> <li>◆爆弾予告</li> <li>◆盗聴盗撮</li> <li>◆展示品・備品の盗難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平常時から挨拶・声掛けの実施</li> <li>②作業場移動の際、<b>閉散箇所巡回</b></li> <li>③整理整頓、清潔保持</li> <li>④落書き消し、<b>小修繕の早期実施</b></li> <li>⑤定期的な盗撮機器確認</li> <li>⑥展示品・備品の定期確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①不審者には2名で声かけを実施</li> <li>②不審物発見時は立入規制し、都と打合せの上、警察に通報</li> <li>③安全確認後、復旧作業、通常業務再開、施設状況を報告</li> </ul>
<b>5 その他</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①Pマーク、ISO14001の準用</li> <li>②各種保険への加入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東京都、本社、関係機関(者)に報告</li> <li>②事故調査組織立上げ、状況・原因分析</li> </ul>

#### 各種保険への加入

◆不測の事態に備え、加入している左記の保険のほか、水辺の事業を多く行う本施設に合わせ、事業ごとに保険の加入を用意し、万全を期します。

【主な加入保険の内容】

指定管理者 賠償責任保険	施設 賠償	対人賠償	1名3億円／1事故または1請求10億円
	初期対応費用	対物賠償	1事故または1請求5億円
		初期対応費用	1事故または1請求1,000万円
生産物 賠償	対人賠償	1名3億円／1事故または1請求5億円	
	対物賠償	1事故または1請求5億円	
	初期対応費用	対人・対物免責金額 (1事故または1請求)5万円	
受託者 賠償	初期対応費用	1事故または1請求1,000万円	
	対物賠償	1事故または1請求2億円	
	初期対応費用	1事故または1請求1,000万円	
動産総合保険	補償費用	保管中(1事故)2,800万円 運送中(1事故)2,800万円	
	個人情報漏えい保険	基本	1請求1億円／保険期間中1億円
	労働災害総合保険	業務上／通勤	14級20～死亡1,000万円 休業3,000万円 14級10～死亡500万円 休業1,500万円

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 2 その他管理運営に関する事項

### ● ● ● ● 人的対応力向上への取組み

対策に加え、施設の特色を十分に理解し、危機に対応する力を身に付けます。

【救急対応手順】

#### 訓練による職員の対応能力向上

危機的事態に迅速な対応をとります。

##### ◆ AED を用いた心肺蘇生法訓練

AED の取扱い方法に関する講習会を開催し、全職員に受講させます。社内には、公益財団法人日本体育施設協会が認定する「AED インストラクター・プロバイダー」資格所有者が複数在籍しており、指定管理者組織内で講習会を開催する事ができます。緊急事態には、従事者全員が救急対応にあたることができるよう救急対応手順を身に付けます。

##### ◆ 監視員による水上の安全確保

水上の事故を未然に防止し、万が一の事故発生時にも迅速に対応が取れるよう監視員を配置します。スタートプール・フィニッシュプール・ウォーミングアッププールの常設配置に加え、利用状況に応じてポイントを増やす事で、施設全体を監視できる体制をとります。傷病者発生時には右図のような対応をとります。

##### ◆ 雷・強風・大雨発生時の迅速な対応

天候は、施設を安全に管理する上で最も身近で危険な災害です。予報で情報収集に努め、光や音を感じられた時や強風時は迅速に利用者を水上から避難させます。

##### ◆ 貸出し備品（救命具）の安全な取り扱い

水上スポーツ施設では、救命具の間違った装着方法が原因となり大事故に発展する事が考えられます。本施設で使用するヘルメットやライフジャケットは、ISO 基準をクリアした製品に限定します。また、施設利用時に利用者へ正確な装着方法を伝達できるよう、RAJ 指導の下、従業員研修を行います。

#### 施設利用を踏まえた対応

施設の利用を想定し、考えられる危機に対応策を講じます。

##### ◆ 盗撮・盗聴への対応

大規模な大会開催に伴い、著名な選手や要人が会場に訪れることが予想されます。会場内の盗撮や盗聴事件を防ぐため、特殊な電波による発見器を用いて定期的に調査を実施します。

##### ◆ 周辺現場との連携、応援の要請

都内各地で施設管理を行っている自社のメリットを活かし、緊急時には応援を受ける事が出来る体制を作ります。本施設周辺には、50箇所以上の施設で現場管理を行っており、概ね 30 分以内には人員の応援を受ける事ができます。

##### ◆ 大会開催時の警備員配置

オリンピックや国際大会など、大規模な大会の開催が予定されている本施設では、要人対応や事故・事件を未然に防ぐため警備員の配置が重要になります。私たちは、警備業認定企業として数々のイベント現場で警備経験を積んできました。大会開催時には、会場に自社警備員を配置し安全管理に取り組みます。



##### ◆ 設備不具合の防止

施設運営のコア設備となるポンプを計画的に点検し、設備不具合による休場を防ぎます。

機器名	数量	作業内容	作業頻度
揚水ポンプ 定格 400V	4 台	運転時の電流値、異音、振動を確認する。 絶縁測定の実施により漏電事故を防止する。	運転使用時ごと
起流ポンプ 定格 400V	15 台	オイル交換、外観確認、運転データ管理、絶縁測定の実施。 オーバーホール、消耗部品取替、運転データ管理の実施。	1 回／1 日
			1 回／2 年
			1 回／5～7 年

#### マニュアルの設置

上記の各種対応等を含めたマニュアルを作成し、従業員に対応方法を周知徹底します。

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 2 その他管理運営に関する事項

### 危機に対応する体制

これまでに提案した対応を確実に実行する事ができ、都民を中心とする利用者の安全を確保できる体制で業務に取り組みます。



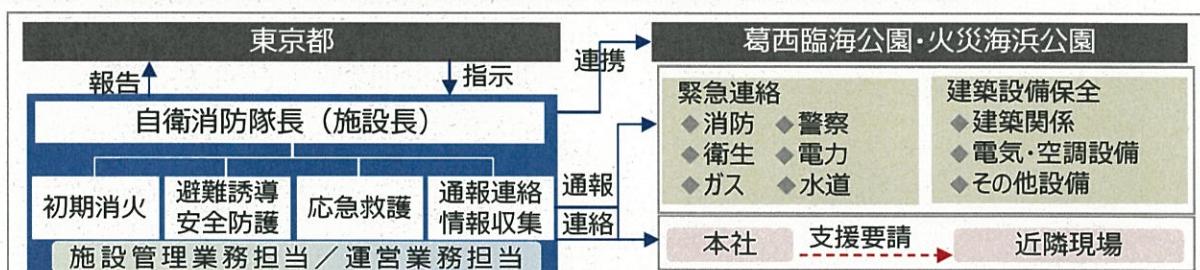
- ① 自衛消防組織を編成し、緊急時に迅速に行動できる体制を構築
- ② 近隣組織との連携を強化し地域防災に協力
- ③ 施設の危機的状況を想定し日常管理を徹底



### 危機管理体制

#### 危機管理体制の構築

- ◆ 東京都や関係各所との連絡体制構築に加え、緊急時には自衛消防組織を構築します。



#### 一時滞在施設としての受け入れ

【「東京都の液状化予測図」より抜粋】

- ◆ 本施設は液状化の可能性が高い地域であり、河川の氾濫や豪雨時の**地域災害拠点**（江戸川区）に選定されています。一時対応施設としての役割を求められた時は、周辺の安全に配慮し物資の備蓄や救護医療スペースなど近隣の公園施設と連携を取りながら東京都の指示に従い対応します。また、水上輸送基地である臨海公園の**物資運搬等に協力**します。東京都帰宅困難者対策条例に基づき、従業員の安全確保にも努めます。



#### 近隣病院の把握

- ◆ 本施設周辺（救急搬送に伴う約10分間の範囲を想定）にある救急医療機関4施設は、連絡先を一覧にまとめ従業員に周知することで緊急事態の対応に備えます。

#### 避難計画の作成

- ◆ 公園施設や近隣施設と連携し、**緊急時の避難計画を作成**します。

#### 施設内ハザードマップの作成

- ◆ 水の吸い込み口や人工物の陰など、施設内の危険個所を洗い出しハザードマップを作成し、施設内の安全管理に活用します。



### 日常作業の徹底と特別清掃の実施

- ◆ 公共施設を管理する者として、管理不十分による不具合はあってはならない事だと十分理解し、施設を安全に利用できる状態に維持します。

#### メンテナンスの実施

- ◆ 立地から砂塵や塩害が施設や機器に与える影響を考え、冬期（1月、2月）の競技施設の年次清掃に合わせて機器のメンテナンスを実施します。

#### 水中ポンプの日常点検

- ◆ 施設運営の中心施設となる水中ポンプは、**日常的に動作点検**を行い、正常な運転状態を保ちます（詳細、前項の設備不具合の防止に記載）。

#### 【日常点検チェックリスト】

日常点検チェックリスト		
1. 水道設備	2. 電気設備	3. 暖房設備
4. 照明設備	5. ベンチマーク	6. その他
7. 建築設備	8. 保守点検	9. その他
10. 安全設備	11. 保守点検	12. その他
13. 消防設備	14. 保守点検	15. その他
16. 防犯設備	17. 保守点検	18. その他
19. その他	20. 保守点検	21. その他

日常的な清掃や機器の点検は、チェックリストを用いて確実に実施

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 2 その他管理運営に関する事項

### (2) 地球環境への配慮

#### 環境配慮への取組み

東京都の施設を管理運営する事業者として、環境基本計画をはじめとする各種環境計画等に定められる役割を果たします。揚水水量とポンプモーターのインバーターの初期設定を確実に行うことで省エネに取り組みます。私たちは、ISO14001 の認証を受け業務を履行します。



- ① 東京都の事業者として環境配慮原則に従い行動
- ② 設備機器を効率的に運転し、施設管理ノウハウを活用したエコ活動の徹底
- ③ ISO 認証に基づき環境に配慮した事業活動を展開

#### ● ● ● ● 環境配慮への取組み

東京都や都民、近隣施設と連携した活動を実現するため、東京都のリーダーシップの下で施設を管理運営する指定管理者が中継点となり環境配慮活動の活性化を図ります。施設の管理運営においては、環境配慮原則（回避・低減・修復・代償・創造）に従い行動します。

#### 施設運営分野の取組み

##### 利用者参加型事業の実施

利用者参加型のエコ事業を実施します。

###### ◆打ち水

施設利用者、公園来場者に協力をいただき打ち水による暑さ対策に取り組みます。

###### ◆エコキャップ運動

リサイクル活動の一環として、エコキャップの回収に取り組みます。

###### ◆メダルプロジェクト（例）

オリンピック・パラリンピック関連事業に協力します。

###### ◆フードドライブ

食品ロスの低減に取り組みます。



##### 3R活動への取組み

事業活動を通して東京都環境局が推進する「3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動」の実施に取り組みます。

##### 産業廃棄物の適正処理に向けた取組み

大会の開催や事業活動によって排出された産業廃棄物は適正に処理します。分別を強化し、リサイクル率の向上を図ります。



##### ISO14001に基づく教育の実施

私たちが認証を取得する ISO14001 の運用システムに基づき、従業員教育を実施します。

##### 「清新な都市空間」の創出

私たちは、指定管理者として施設の美化に取り組み、東京都が考える「清新な都市空間」の創出に貢献します。

#### 施設管理分野の取組み

##### 設備機器の効率的な運転

施設の運営には、大きな電力を使用する機器の運転が必要となります。施設への需要を踏まえた運営計画に加え、ポンプとろ過器の同時運転をしない事で省エネに心がけます。

##### ヒートアイランド対策の実施

夏期期間は、施設周辺が高温になる事が予想されます。施設の熱対策として、ドライ型ミスト装置の導入などにより快適な環境を作ると同時に、熱中症などの予防に取り組みます。



##### 適正な事業者の選定と購入基準の徹底

施設で使用する消耗品は、東京都グリーン購入ガイドに基づき調達します。また、委託業者の選定は、ISO のシステムに基づき事業者を評価した上で、環境に配慮した事業者を選定します。

##### 環境に配慮した薬品の使用

作業等で薬品を使用する場合は、製品安全データシートで環境や生態系への安全性を確認します。

##### 環境影響を想定した訓練の実施

施設管理上考えられる事故に対して、年 1 回訓練を実施します。

##### 自然環境に配慮した施設管理

隣接する葛西臨海公園を含め、首都圏の貴重な都市内緑地空間や水辺を持つ本施設は、エコロジカル・ネットワークを拡大する上で重要な役割を担っています。自然環境の維持・保全に努め、自然との共生による健全な生態系の確保に努めます。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 5 [施設の維持管理その他管理運営に関する業務] 2 その他管理運営に関する事項

### (3) 個人情報の保護

#### 個人情報の保護

第三者機関の認証に基づき、システム化された情報保護体制を全ての従業員に水平展開し、個人情報の保護を徹底します。

私たちは、プライバシーマークの認証を受け業務を履行します。



- ① 関係法令と自社が掲げる方針を遵守し、個人情報の保護を徹底
- ② 情報保護対策に取り組み、情報流出を複数の方法で防止
- ③ 計画的に研修を実施し、職員の対応レベル向上を図ることでヒューマンエラーを低減
- ④ インターネットを使用した利用受付に対する情報保護対策

#### ● 想定する個人情報と取り扱い方法

施設利用者の個人情報は、収集目的を説明した上で必要最小限の情報収集に止めます。施設で収集する個人情報の多くは、利用承諾書や事業計画書（大会）のように利用時に必要な承諾書類になります。情報漏えい、滅失、き損等に細心の注意を払い、以下のような情報保護に取り組みます。

#### 【個人情報保護の具体的な取組】

1	従業員全員に年1回以上の個人情報保護に関する研修を実施します。
2	プライバシーマークの認証に基づき、「個人情報保護方針」・「個人情報管理基本規程」を遵守して業務を履行します。
3	従業員は、個人情報保護の遵守に関する誓約書を提出して業務に就きます。
4	個人情報を管理する電子機器はパスワード設定を施し、容易に取り扱う事ができない状態で管理します。機器の使用者は責任者等に限定し、情報の取扱い範囲を制限します。
5	控室の掲示や書類の回覧、朝礼やミーティングで責任者が情報管理の重要性を説くなど、モラル教育に取り組みます。国内外の著名な選手も来場されることから、従業員のSNSへの無断投稿などにも注意し、利用者のプライバシーを守ります。
6	個人所有の携帯電話や電子機器には、業務情報を保存しません。業務上どうしても必要な施設の電話番号等を保存する場合は、端末のパスワード設定などで第三者への開示を予防します。
7	本社組織・認証機関による運用監査を実施し、必要に応じて情報管理方法を是正します。

#### ● 従業員に対する守秘義務の徹底

#### 【個人情報保護教育計画】

区分	時間	講師	内容
入社時研修	入社時	部門管理者	◆個人情報マネジメントシステムについて
年次研修	年1回～	部門担当	◆システムの重要性・役割・違反の結果
定期研修	年2回	部門担当	◆法改正、作業拡充に伴う規程の変更説明 ◆クレーム・事故発生防止の安全対策、分析 ◆社内監査指摘事項、共有のための解説

#### 従業員研修の実施による知識の醸成

- ◆ 東京都個人情報の保護に関する条例を遵守し、プライバシーマークの運用に伴う教育計画に従い研修を実施する事で守秘義務を徹底します。定期研修の実施以外にも法改正や関連する事故・事件が起った時は臨時で研修を行います。

#### 個人情報管理基本規程の遂行による統一された対応

- ◆ 個人情報管理基本規程に倣い、従業員の対応内容の統一化を図ります。本規程は、監査および見直しを実施する事で継続的に管理能力を高めていきます。

#### 利用受付等の対応

- ◆ 施設利用受付時に預かる個人情報を適正に管理し、流出やき損、その他の事故を防ぎます。承諾書等に記載された個人情報は、個人情報管理台帳に取りまとめ、重要書類として施錠できるキャビネット等で管理します。

#### 【施設で取り扱う個人情報】

利用区分		施設に提出いただく書類	施設で管理する個人情報
団体	優先	事業計画書、利用承諾書（代表者）	承諾書に団体代表者の氏名・住所・電話番号・緊急連絡先を記入し提出いただきます。大会開催の場合は、事業計画書を提出いただきます。
	一般	利用承諾書（代表者）	
個人	教室	参加承諾書	安全利用に同意いただき、承諾書に氏名・住所・電話番号・緊急連絡先を記入し提出いただきます。
	一般	利用承諾書	

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 6 [収支計画]

### 収益向上に向けた考え方

本施設は、事業内容が多岐にわたり、競技コース・ウォーミングアップコース・フィニッシュプールの全体を使う事業もあれば、それぞれ単体で使う事業もあります。また、施設を共用できる事業もあれば、専用利用としなければならない事業もあります。営業時間やその時間割、予約方法などを工夫し運営しなくては施設の効率が悪くなり収益は上がらないことになります。

また、本施設はポンプの運転に大きな経費が掛かりますので、利用者数を予測し、一定の時間に集約し、利用してもらうことも運営に欠かせない作業になります。



- ① 【経費の削減】競技団体の協力によって縦割りの排除し、運営管理を一本化します。
- ② 【収入の増加】多目的な事業を効率的に展開するためのスケジュールを作成します。
- ③ 【収入の増加】旅行代理店の体験 PR 誌などの掲載で団体利用を促進します。
- ④ 【収入の増加】各競技団体と連携して早めに情報を入手し稼働率をアップします。
- ⑤ 【経費の削減】利用者数予測、利用者の集中によってポンプの効率的に稼働します。



#### 【経費の削減】競技団体の協力によって縦割りの排除、運営管理の一本化

私たちは、事業内容が多用途で複合性の高い本施設を、効率的に運営するため、各競技団体にご協力いただき、人材・ノウハウを社内に蓄積することで、施設の全事業に専門性をもって**一社で管理運営を行える体制**を整えます。

各事業を専門企業が担当するのではなく、業務の縦割りによる無駄を排除し、コストを削減します。施設担当者の兼務、事業の一貫性の確保により、高いサービスレベルの実現と経費削減の両立をお約束します。



#### 【収入の増加】多目的な事業を効率的に展開するためのスケジュール作成

「課題 2-1 施設の提供」の部分に記載させていただきましたが、予約承認は、①優先予約の受付 ②優先予約の確定 ③一般利用のスケジューリング ④一般予約開始 の流れで進めます。効率的に施設を利用するため、③一般利用のスケジューリング でラフティングを集約するコマ、スラロームを集約するコマ、共用のコマ、ポロが可能なコマ、フィニッシュプールのレジャー利用可能なコマなど大体方向性を決めて一般受付を開始します。また修学旅行などの学校行事での利用を見込む場合は、早めの予約受付が必要になりますので事前に協議させていただきます。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 6 [収支計画]



### 【収入の増加】旅行代理店の体験 PR 誌などの掲載で団体利用を促進

ラフティングやカヌー教室など、体験事業活性化のためにPR活動を積極的に行います。体験型の事業の参加者は、様々な同種の事業の中から、参加事業を選ぶことが多く、体験事業専門の団体向け、個人向けの広報誌やホームページがつられています。これらの広報媒体に目立つ形で掲載することが重要で、モニター募集による体験談掲載や、クーポンの発行など積極的に市場展開を図っていきます。

開設時の施設の露出を多くするため、ドローンによる施設全貌の撮影や、迫力ある競技の動画を作成し、SNSなどに活用いただけるコンテンツを積極的に公開して行きます。

オリンピック施設である特性を最大限に活用し、企画を持込み、メディアの取材などを積極的に呼び込みます。観光バスのツアーについては、オリンピック施設を連携することで実施可能であると、お話をいただいている。当社で運営する別のオリンピック施設も含め連携してオリンピックレガシー施設としての特性を最大限に活かします。

#### 個人向け機会体験型

例

多様化する個人旅行者向け、体験が主となる日本最大級のレジャー予約サービス。地域性あるコンテンツ掲載。

#### 団体向け地域交流型

例

地域振興や交流を目的とし、その地域ならではの特色を活かした団体客や修学旅行生に向けた旅行企画商品。



### 【収入の増加】各競技団体と連携して早めの情報入手による稼働率アップ



Raft



Slalom



River SUP



Canoe polo



Freestyle  
canoe

競技団体と連携して、国際大会・国内大会・強化練習などの情報を早めに入手することで、施設の稼働率を高めることができます。学校行事利用や企業のチームビルディングなどの予約開始を早めることで、ラフティングの利用率を上げることが出来ます。

#### 【ラフティングが集客の要】

この施設の集客・収入の要はラフティング事業になります。競技を最優先としながら、ラフティングの時間割をしっかり確保し、早めに予約を融通することが重要になります。また、楽しんで帰っていただくために、ツアーガイドの技量・コミュニケーション力向上にラフティング協会協力の基、取り組んでいきます。

事業者名・団体名

株式会社 協栄

## 提案課題 6 [収支計画]



### 【経費の削減】利用者数予測、利用者の集中によってポンプの効率的稼働

競技コース 一般利用の 種類	スラローム必須開放	土日祝	時間を決めて必ず開放、予約なしで利用可能
	スラローム予約開放	適宜	予約を調整し 10 人以上の利用者がいれば開放
	ラフト予約開放	適宜	予約に応じて開放、ゲートなしでカヌー利用可
	大会	適宜	専用利用、他利用は受付無
	強化練習	適宜	専用利用、他利用は受付無（フィニッシュプールは協議）

一般開放は、土日祝日の日 1 回の必須開放を除いては、受付時に利用コマを限定して開放していきます。最低利用人数を上回る利用者を確保するため、スケジュールを作成し、集約させていくコマに利用者を集めていきます。



### 収支予算の概要

#### 【指定管理料】

区分	項目	33 年度	34 年度	備考
指定管理料		161,801	160,954	

事業者名・団体名

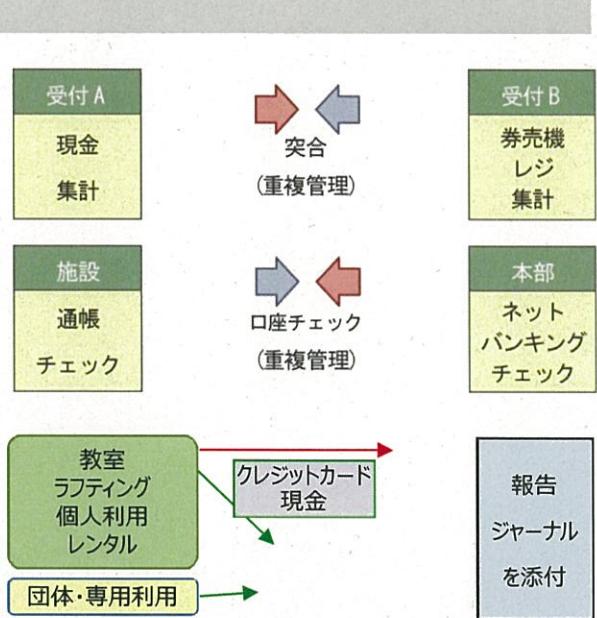
株式会社 協栄

## 提案課題 6 [収支計画]

### ● ● ● ● ● 指定管理者制度を熟知

当社は、平成15年指定管理者制度導入時に専門部の指定管理者事業部（現在、PPP事業部）を立ち上げ現在、協定数18、施設数34の指定管理者案件を運営管理しています。指定管理者制度特有の年度計画書・予算書の作成、年度協定の締結、事業報告、年度報告書・決算書の作成などの事務を確実に実施する経験を積み重ねています。

料金の支払いについては、現金、各種カード、銀行振り込みに対応し、現場支払いについては自動券売機・ポスレジを導入することで、人手によるミスを少なくします。また、売上管理の全ての工程を重複チェックができる体制を作り、取り扱いのミス・不正を排除し、確実な管理を行います。



### ● ● ● ● ● 収支赤字が生じた場合及び収支計画を上回る利益が発生した場合の取扱いについて

	2019年	2020年	2021年	2022年
施設整備工事	東京2020大会準備	東京2020大会	東京2020大会後の工事	後利用開始
負債発生の場合	概算計算のため協議しながら事業実施・清算	オリパラ実施協議しながら事業実施・清算	年度当初に年度協定時に運営の変更を協議させていただければ補填等はいりません	
利益発生の場合			指定管理料の利益発生時は超える部分の	利益発生時は超える部分の

カヌー・スラロームセンターは日本で初めてできる、人工コースでの収入変動は避けられないと考えています。支援事業者の際に、関係団体にヒアリングを行い、需要予測をたてましたが、現在の競技者にとって自然のコースは無料であって有料の意識はありません。また海外事例を参考に予測を立てましたが、水上スポーツに対する文化が異なり、この需要予測も完全とは言えません。「日本初めての施設」になりますので、年度当初の年度協定時にその都度協議し、その年の運営方針を再構築させていただきたいと考えています。

- ① 負債発生の場合は、指定管理料アップの要望ではなく、運営の変更を協議させていただき、広報宣伝の充実、経費の削減（ろ過やポンプ稼働時間の検討・利用時間の集中等）の上、収支バランスを図っていきます。
- ② 指定管理料の 利益発生時は超える部分の 施設への投資の形で、還元します。

事業者名・団体名	株式会社 協栄
----------	---------

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(1) 支出の計画

単位：千円

項目		31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
人件費	正規職員							
	臨時職員						アルバイト、派遣職員、非常勤職員等	
	人件費計(A)							
管理運営費	光熱水費						電気・ガス（当施設はLPガス使用）・水道・燃料	別紙1積算内訳②
	消耗品費等						消耗品、備品、印刷製本、原材料、建物・設備等修繕費等	別紙1積算内訳③
	役務費						電話・通信・運搬費等	別紙1積算内訳④
	委託費（維持管理費等）						設備保守・清掃・警備・その他業務委託等	別紙1積算内訳⑤ 及び別紙2委託費内訳
	賃借料						リース料等	別紙1積算内訳⑥
	その他の						諸謝金・旅費交通費・その他経費	別紙1積算内訳⑦
	小計							
間接費							管理運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
合計								
消費税								
管理運営費計(B)								
スポーツ振興事業費	事業費							
	間接費						スポーツ振興事業運営に伴う本社等の経費（人件費を含む。）	
	合計							
	消費税							
スポーツ振興事業費計(C)								
支出合計(D = A + B + C)								

提案課題6 別表 指定管理期間中の収支計画

(2) 収入の計画

単位：千円

項目		31年度	32年度	33年度	34年度	合計	内容	備考
管 理 運 営 費	体 育 施 設 利 用 料 金						専用・個人の施設利用料金、自主事業の施設利用料金	別紙積算内訳⑧
	そ の 他						預金利子、利用者サービス事業に伴う光熱水費等	別紙積算内訳⑨
	管 理 運 営 費 計 ( E )							
ス ポ ツ 振 兴 事 業 費	参 加 料							事業計画書 3-1-(1) [スポーツ振興事業]
	そ の 他						協賛金等	
	ス ポ ツ 振 兴 事 業 費 計 ( F )							
そ の 他 ( G )							自主事業、周辺連携事業及び利用者サービス事業からの繰入額	事業計画書 3-1-(2)(3)(4)
収入合計 ( H = E + F + G )								

(3) 都からの委託料

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合 計	内容	備考
都 か ら の 委 託 料 ( D - H )	161,801	161,801	161,801	160,954	646,357		

※ (参考) 自主事業、周辺連携事業及び利用者に対するサービス提供事業の収支 (積算内訳は事業計画書3-1-(2)(3)(4))

単位：千円

項目	31年度			32年度			33年度			34年度		
	収入	支出	差引									
自 主 事 業												
周 边 連 携 事 業												
利 用 者 に 対 す る サ ー ビ ス 提 供 事 業												
合 计												

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

### ① 人件費積算内訳

単位：円

① 人件費積算内訳

単位：円

## 提案課題6 別紙1 収支計画の積算内訳

(金額等の数字は収支計画の記入金額と整合させてください。)

### ② 光熱水費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
上下水道代(基本料)					
(逆洗蒸発補給)					
(入替)					
電気代(基本料)					
(ろ過等)					
(揚水ポンプ)					
(起流ポンプ)					
(ベルトコンベア)					
(管理棟・街灯)					
ガス代					
合計					

### ③ 消耗品費等積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
事務用品					
消耗品費					
備品					
印刷製本					
原材料					
建物・設備等修繕費					
合計					

### ④ 役務費積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
電話代					
郵便代					
振込手数料					
保険代					
ごみ処理代					
合計					

### ⑤ 委託費（維持管理費等）積算内訳

単位：千円

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
内訳は提案課題6 別紙2「⑤委託費（維持管理費等）積算の内訳」のとおり					

### ⑥ 貸借料積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
事務機器リース					
合計					

### ⑦ 管理運営費・その他支出積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
交通費					
会費					
広報広告費					
事業所税					
合計					

⑧ 体育施設利用料金収入積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
大会利用					
個人利用					
団体利用					
トレーニング利用					
艇庫利用					
会議室利用等					
合計					

(⑧)体育施設利用料金収入の積算補足資料)

⑨ 管理運営費・その他収入積算内訳

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
利息					
合計					

提案課題6 別紙2 ⑤委託費（維持管理費等）の積算内訳

分類	作業の種類	金額(円)	備考
管理棟	建築物検査		
	特殊建築物調査		
	CCTV定期点検		
	中央制御盤保守点検		
	各種水槽清掃・保守		
	消防設備点検		
	機械警備業務		
	電話交換設備		
	空調設備点検		
	フィルター交換清掃		
	ガス給湯器保守点検		
	エレベーター点検		
	自動ドア保守点検		
	シャッター定期点検・保守		
	定期清掃業務		
	衛生管理業務		
ろ過施設	自家用電気工作物保安管理		
	ろ過器点検		
	各種水槽清掃・保守		
	シャッター定期点検・保守		
競技施設	揚水ポンプ定期点検		
	起流ポンプ定期点検		
	ポートコンベア定期点検		
	フィニッシュプール水入替時清掃		
計			

※1 本計画書の作成に当たっては、収支計画書との整合を図ってください。